

男女共同参画に関する 市民アンケート

平成27年4月 集計

調査の概要

1. 目的

この調査は、市民の男女共同参画に関する意識を調査するとともに、問題点を把握し、男女共同参画社会をめざす「まちづくり」の活動資料とするものです。

また同時に第2次恵庭市男女共同参画基本計画の策定のための基礎資料としても活用します。

2. 設問

本調査の設問は、男女共同参画の学習と啓発活動を行う女性団体である恵庭女性会議が、平成14年に実施した「男女共同参画に関する意識調査」より抜粋したものを、時代背景を考慮しながら、一部修正したものを設問としました。

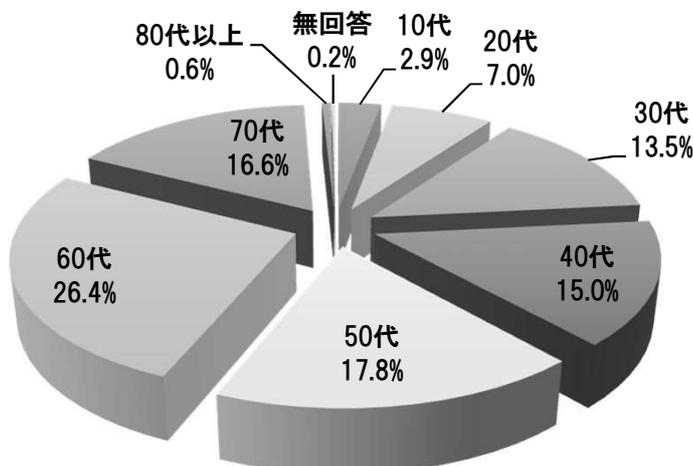
第5期恵庭市総合計画の策定にかかる市民意識調査とともに郵送したため、設問数は少数とし、最も確認したい事項のみとしました。

3. 設計

調査地域	恵庭市全域
調査対象	平成26年11月20日現在、恵庭市に在住する16歳以上の市民
抽出方法	無作為
標本数	2,000件
調査方法	〈往〉 第5期恵庭市総合計画策定にかかる市民意識調査とともに郵送 〈復〉 第5期恵庭市総合計画策定にかかる市民意識調査とともに返信用封筒にて回収
調査期間	平成26年12月5日(金)～12月26日(金)

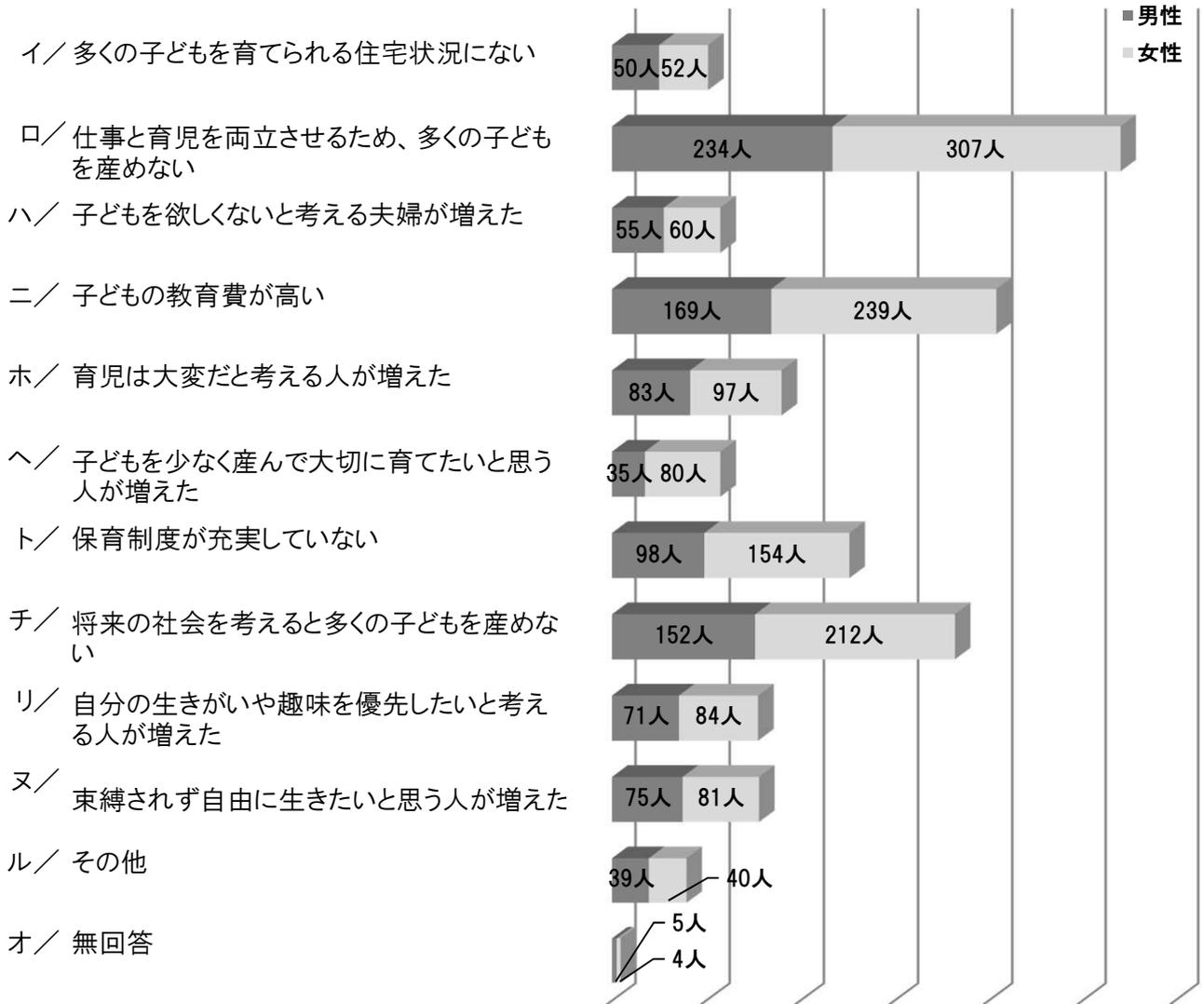
4. 回収

回収数	855件		
回収率	42.8 %		
内訳			
性別	男性 366人	年代別	10代 25人
	女性 484人		20代 60人
	無回答 5人		30代 115人
			40代 128人
			50代 152人
			60代 226人
			70代 142人
			80代以上 5人
			無回答 2人



問1

女性が生涯に出産する子どもの数が年々減り続けていますが、なにが原因だと考えますか。次の中から3つ選んでください。

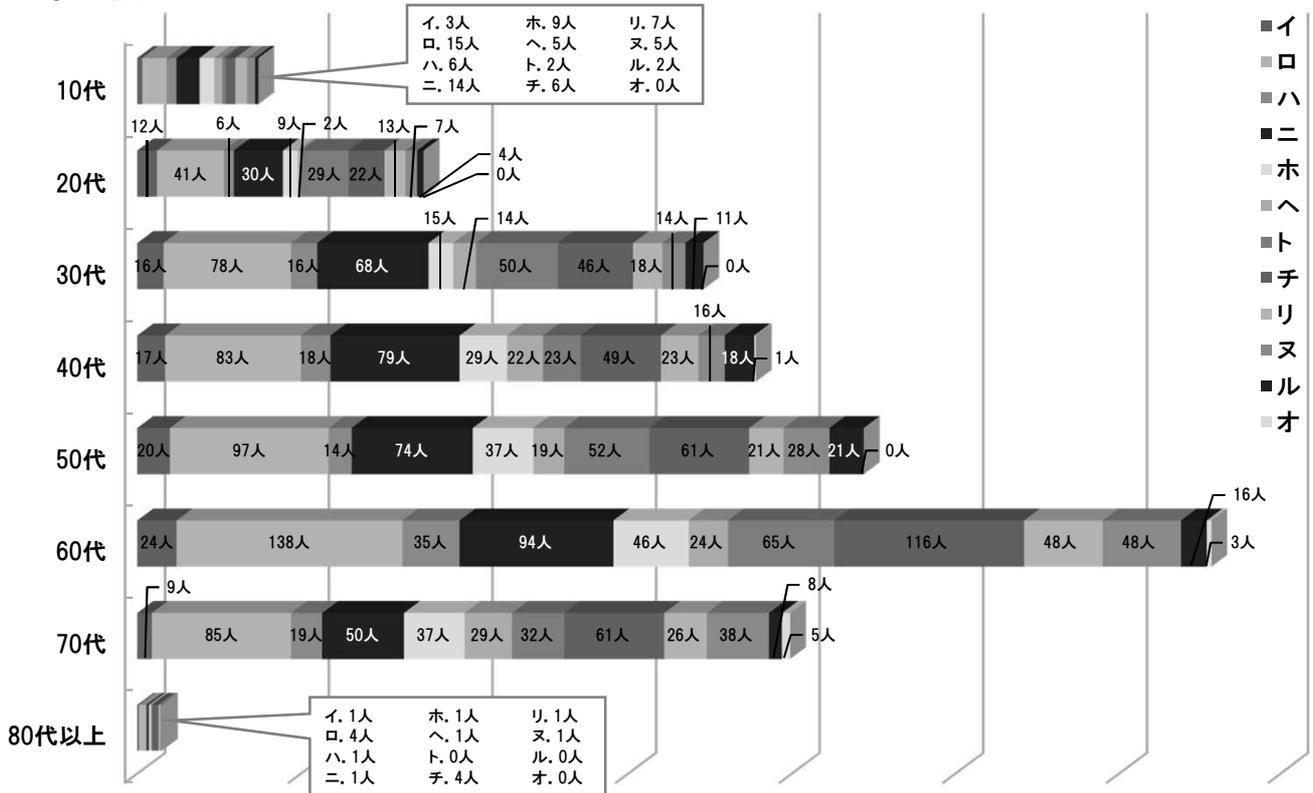


『ロ／仕事と育児を両立させるため、多くの子どもを産めない』が最も多数選択されているが、その要因として、「収入が少なく、子供を産み育てることが出来ない。【40代 女性】」、「世帯主の給料が安い。共稼ぎでないと暮らせない。【60代 男性】」といった経済的なもののほか、「預けられる所がなく産んでも働けないため。【40代 女性】」といった労働環境面が直結し、子どもを産み育てる事が難しいと感じる人が多いことが窺えます。

このほかに、「晩婚化」や「不妊」といった意見もあり、生活スタイルの多様化に伴う影響が窺い知れます。

年代別にみても、これから子育てをするであろう年代や子育て中の年代、子育てが一段落した年代を比較してみても、経済的な理由や将来不安などを同じように感じていることがわかります。

■年代別

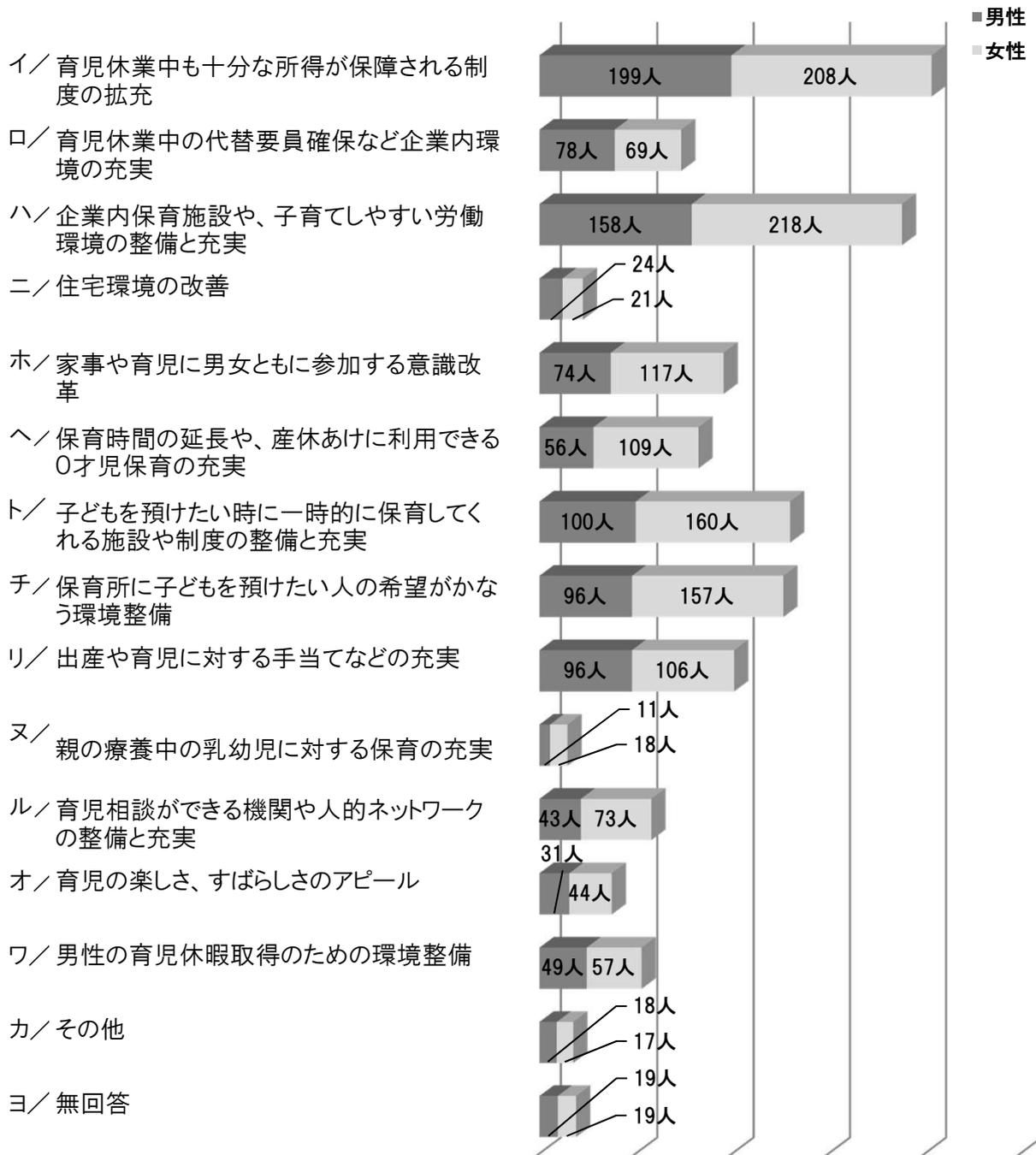


■「ル／その他」に記入いただいたご意見

- 「経済的にムリ」、「もういない」という声をよくきく。産みたくてもさずからない。2人目がなかなかできないという声も多い。初産の年齢が30～40才が多いせい？【30代 女性】
- 子育てする人が肩身のせまい世の中になっている。例えば子供達の声がうるさいなどと言う人が居る。社会の思いやりが無い。【70代 男性】
- 世界で子供がもっとも多く産まれている国を見て下さい。少子化は先進国の宿命です。【40代 男性】
- 結婚年齢が高い為、出産自体もリスクが高い。【60代 女性】
- 未婚化、晩婚化。【70代 男性】
- 経済的に収入と支出を考えると親(夫婦)の自由がきかない。(楽しみの変化)【60代 男性】
- 仕事をして賃金をきちんと得ることができるかが不安。安定した職につくことが困難である。【20代 女性】
- 若年層の給与が低く、結婚して生活の維持が困難と考える人が多いので独身率が高い。【50代 女性】
- 収入が少なく子供を産み育てることが出来ない。【40代 女性】
- 女性も働いていかなければならず、負担は多くなり、この先にお金の不安がついて回る事に不安が大きくなりすぎ。【40代 女性】
- 生活に余裕がない。子供を育て生活するにはお金がいる。【40代 男性】
- 沢山産んでも保育園、学童の料金が値上がり負担多い。多子軽減も保育園と小学生になっても使えるようになれば、かわりそう。【30代 女性】
- 労働環境が悪い(非正規・契約社員・パートが主流で安定した賃金が得られない)ことが一番の要因であると思います。結婚を望んでも将来不安が先に立つ。【70代 男性】
- 産む病院が近くにない。【30代 女性】
- 不妊治療にお金がかかる。【40代 女性】
- 欲しくてもできない方がいる。【70代 男性】
- 現代の若者の考え方はよく分からない。【60代 女性】

問2

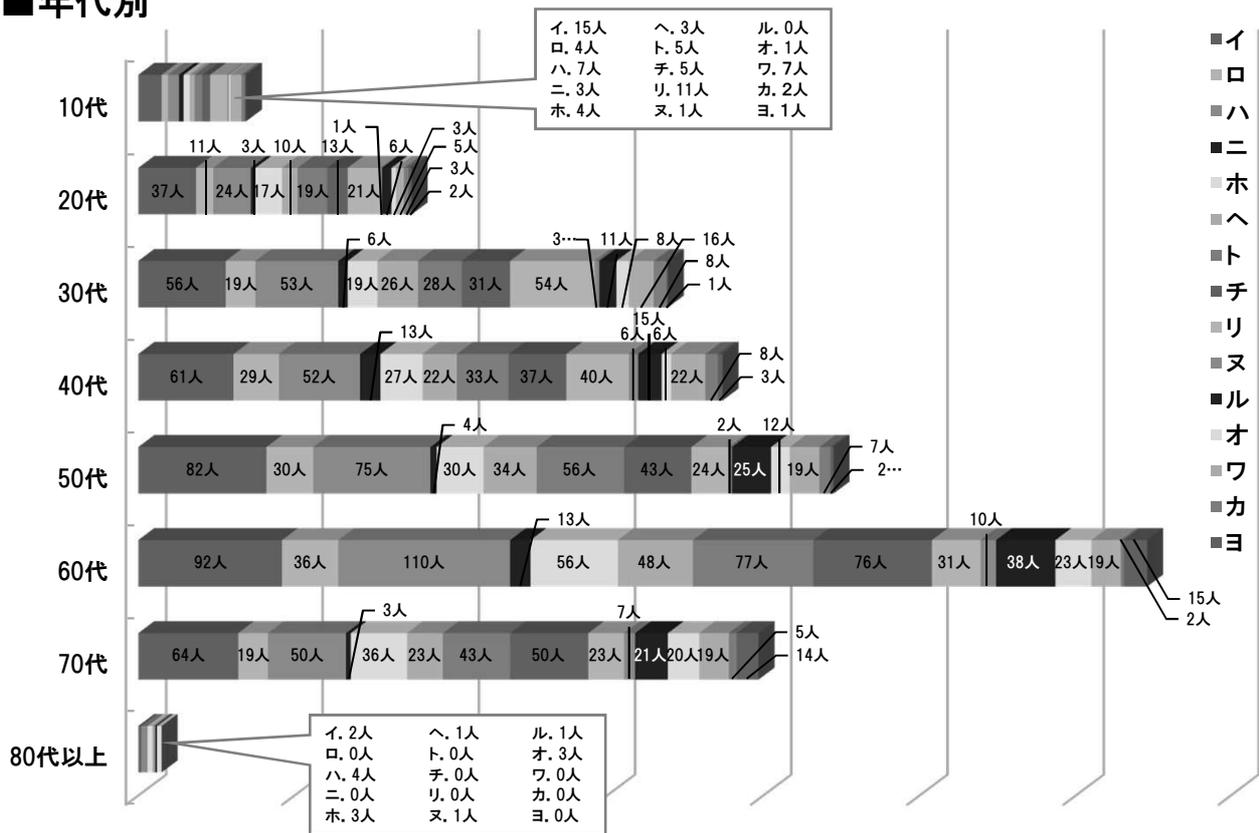
子どもを産み育てやすい環境をつくるため、どのような事が必要だと思いますか。
次の中から3つを選んでください。



「男性が育児休暇を取ったら、給与が3分の1になり、転職せざるを得なくなりました。【70代 女性】」や、「安定した就労条件、賃金確保。【70代 男性】」といった、企業の理解と給与保障を求める回答が最も多い結果となっています。

年代別には、子育て中の家庭が多い30代は、現在利用していると考えられる保育所などの利用について、その利便性の向上を求める一方、60代では、企業内の保育施設設置などの社会的構造での対応を求める意見が多いことがわかります。

■年代別

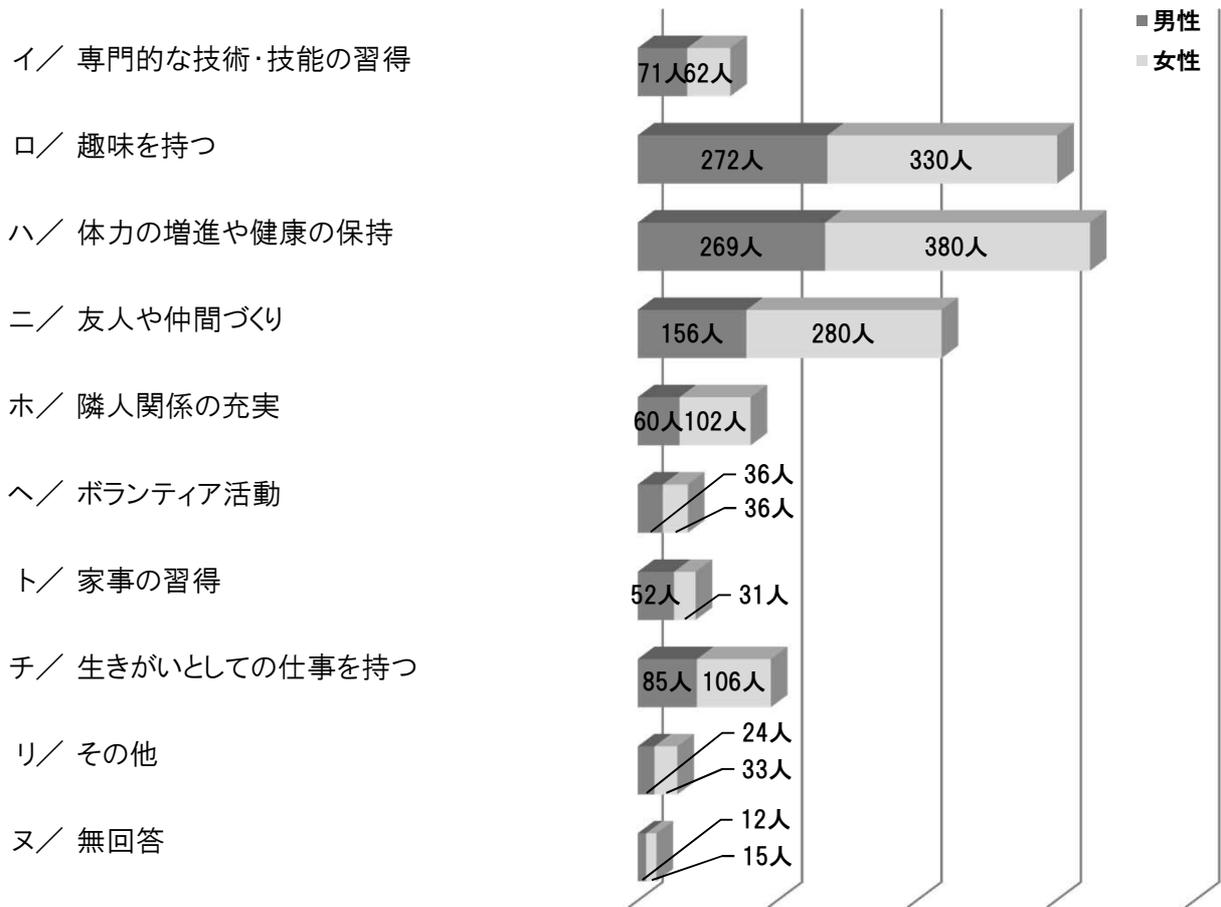


■「カ／その他」に記入いただいたご意見

- 子どもが病気になった時だれが預かってくれるか。母親も安心して仕事と育児を両立させることができると企業も安心して採用しやすく、もっと若いお母さん達が仕事両立できるのではないか。【40代 男性】
- 父親の仕事の長さが、子育てを手伝えない。【30代 男性】
- 個人的には男女対等には思っていないので、男性の安定した仕事・収入があれば、女性は子育てに専念して、パートに出ながら自分の好きな物を買える位が良いと思う。【40代 女性】
- 日々の生活費(給料)に余裕がないと現実問題育てられない。【40代 女性】
- 自分の住む町に産婦人科が多いこと。【50代 女性】
- 若年層の収入UP。【20代 男性】
- 子育てがしたくても、仕事優先となってしまっただけで子どもとふれあう時間が少ない。若しくは皆無となっていると思う。育児休暇をもっと取得できる環境が必要と感じています。【20代 女性】
- 育児を楽しむための施設の充実。小児科の夜間・救急の整備・充実。【30代 女性】
- 世代間交流と愛情教育。【50代 男性】
- 子どもを育てるための環境よりも、周囲の人の理解が最も大切だと思う。【10代 女性】
- 教育費・医療費の免除。【20代 男性】
- 給料の低下と雇用(職)に不安があるため。【50代 男性】
- 子育て時の母親教育。【70代 女性】
- 育児に漠然と不安をかかえている人多いです。【20代 女性】

問3

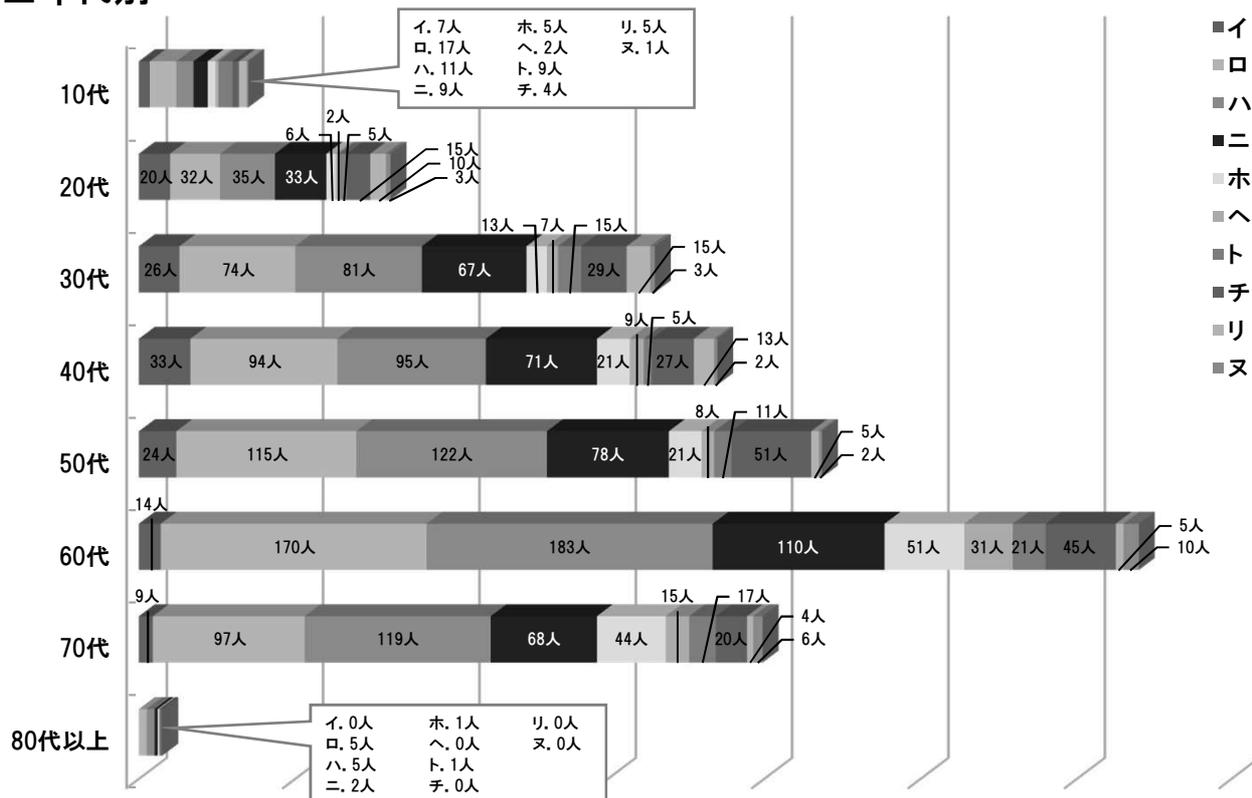
自分の老後のために、どのようなことをしていますか。または、しておきたいですか。
次の中から3つ選んでください。



趣味を持つことや、健康を気づかうなど、男女とも健康にいきいきと過ごすための取り組みをしている人が多いことがわかります。

その一方、貯蓄などの経済的な準備をしていると回答した人も多数おり、現代においては経済的な不安を大多数のひとが感じていることが窺えます。

■年代別

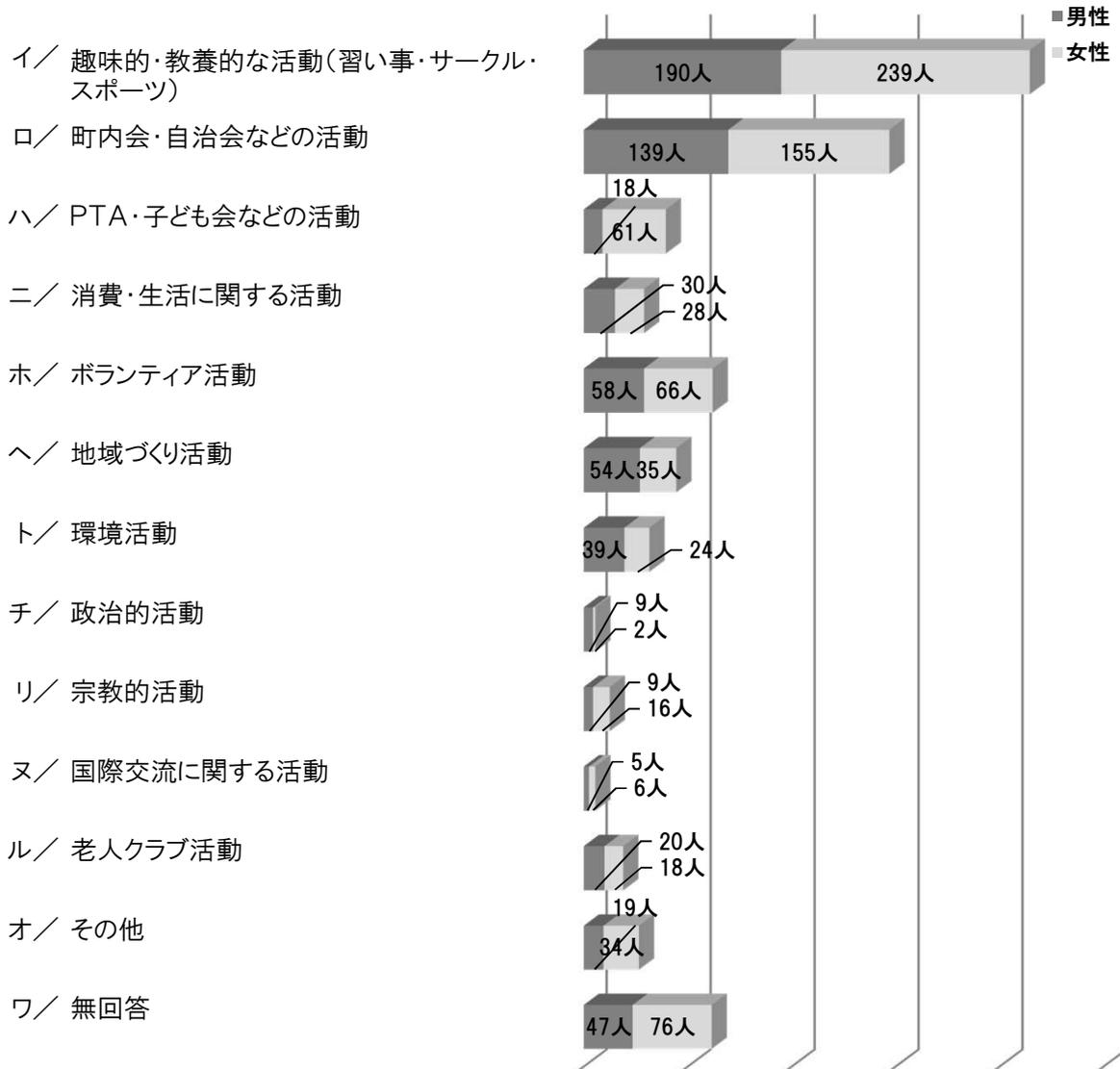


■「リ／その他」に記入いただいたご意見

- 最先端の情報入手。起業準備。【30代 男性】
- まだ老後の心配のできる状況ではない。【30代 女性】
- 特に意識していない。【20代 女性】
- 特に何もしていません。【20代 女性】
- 施設入所をつづける。【70代 男性】
- 自分の生活におわれて、気がつけば自分が老後に。【60代 女性】
- 今が一番大事だから、あまり老後のことは考えない。【40代 男性】
- 老後資金計画。【40代 女性】
- まだ老後のことを考えるような年齢に達していないのでよく分からない。【10代 女性】
- 十分な貯蓄。【10～70代 男性・女性32人が記入】

問4

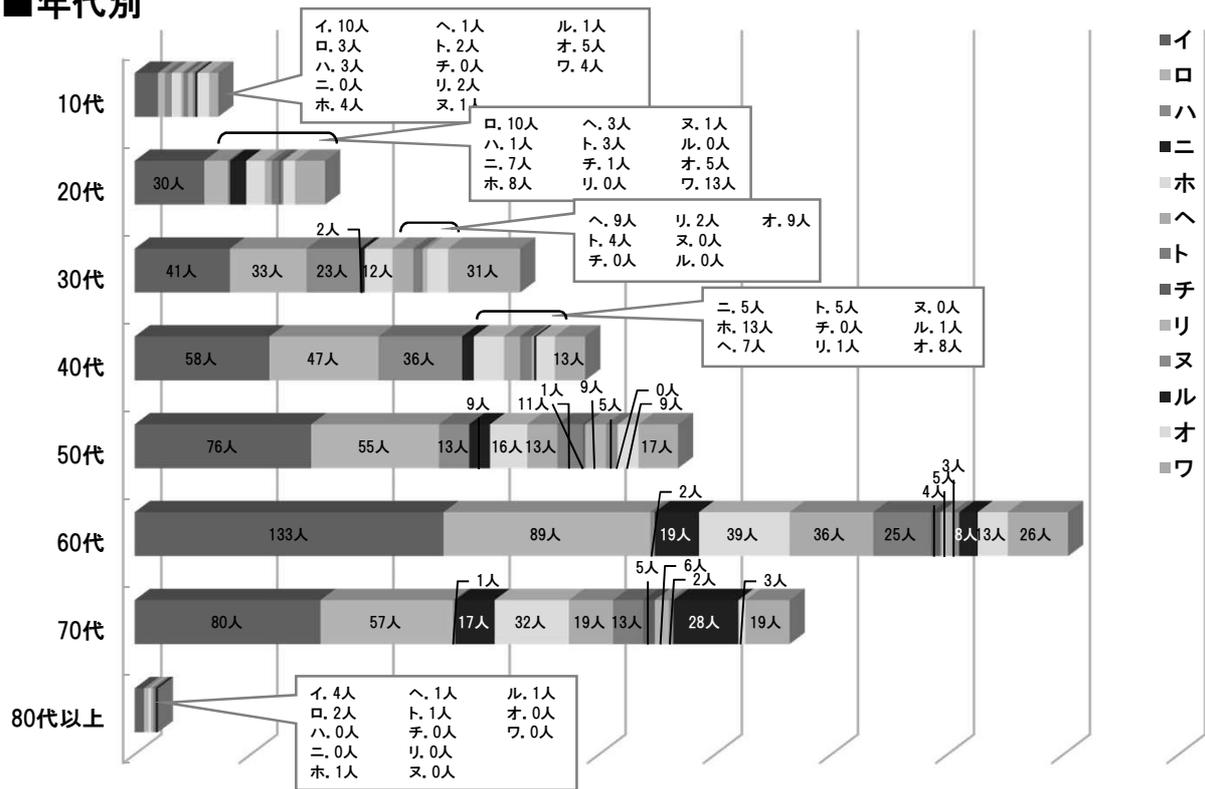
あなたが参加する活動を、次の中から選んでください。
(複数回答可)



多くの方が、習い事やサークル活動といった自己を高める活動をしているほか、町内会・自治会活動やPTA活動、ボランティア活動などの地域に密着した活動も多くみられます。

年代別にみると、PTA活動と回答しているのは、子育て世代である20代、30代ですが、ボランティア活動へは子育てを終えた60代が一番多いなど、年代ごとにそれぞれの生活スタイルに合った活動を選択していることがわかります。

■年代別



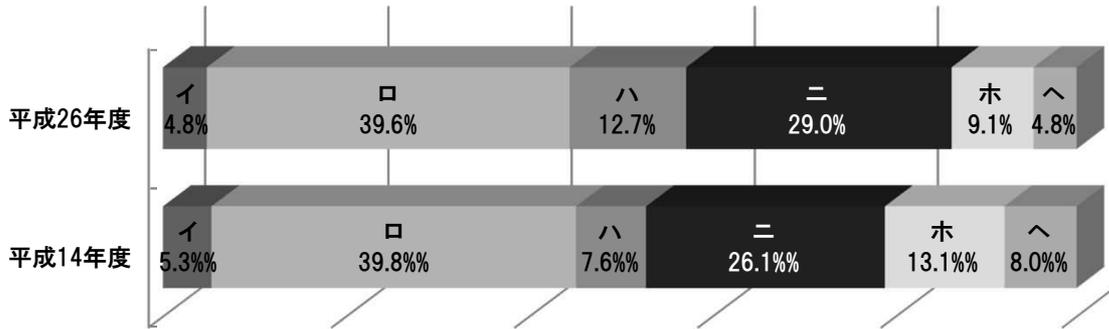
■「オ／その他」に記入いただいたご意見

- 自分の子供達(孫)や地域(町内)への子供の交流。【60代 女性】
- すばらしい人であれば、男女の差別はிரらない。【30代 女性】
- そもそも参画していない。する気もない。【10代 女性】
- 仕事を通じた社会参加。【60代 男性】
- 参加する時間がない。【20代 女性】
- プレイセンター。【30代 女性】
- 仕事に専念する事で精一杯です。【50代 男性】
- 特になし。【20~70代 男性・女性20人が記入】

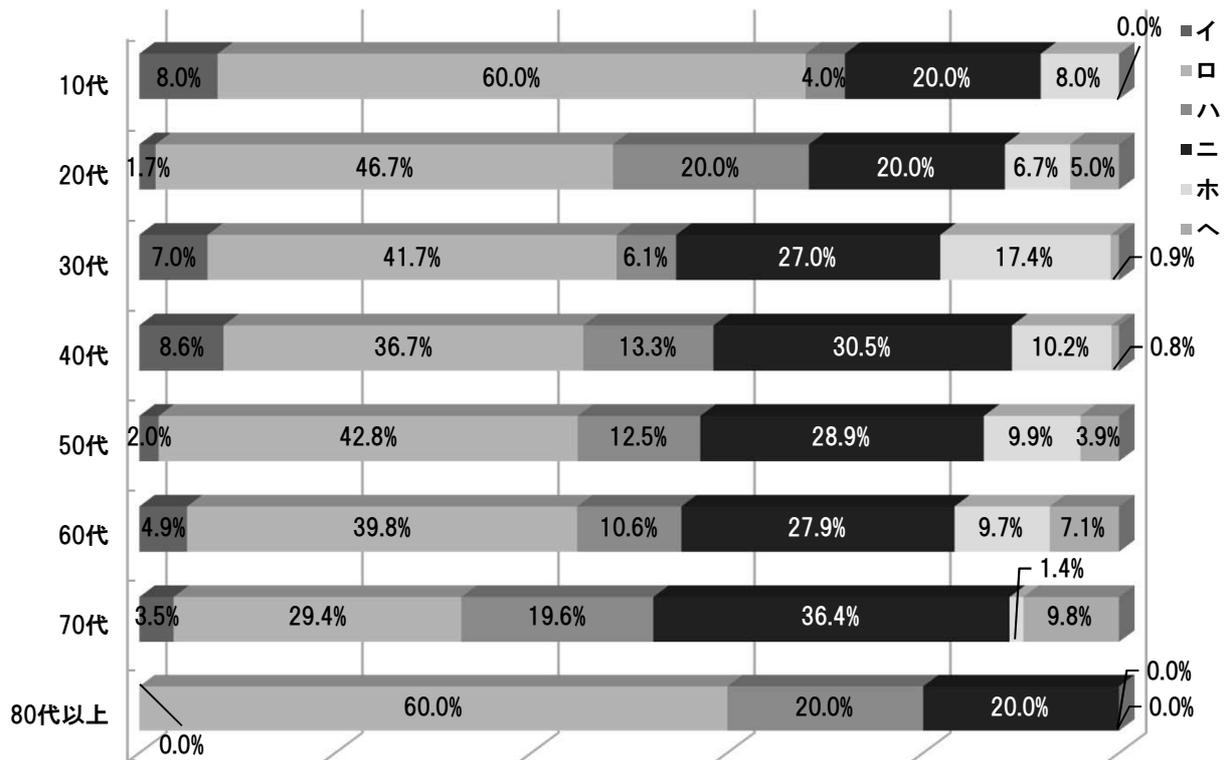
問5

近年、議会や審議会などの政策決定の場に女性の参画が少しずつ増えてきましたが、どのように感じますか。次の中から1つだけ選んでください。

- イ／ 男性を上回るほど増える方がよい
- ロ／ 男女半々になるまで増える方がよい
- ハ／ 男女の比率を定める方がよい
- ニ／ 今のままでよい
- ホ／ その他
- ヘ／ 無回答



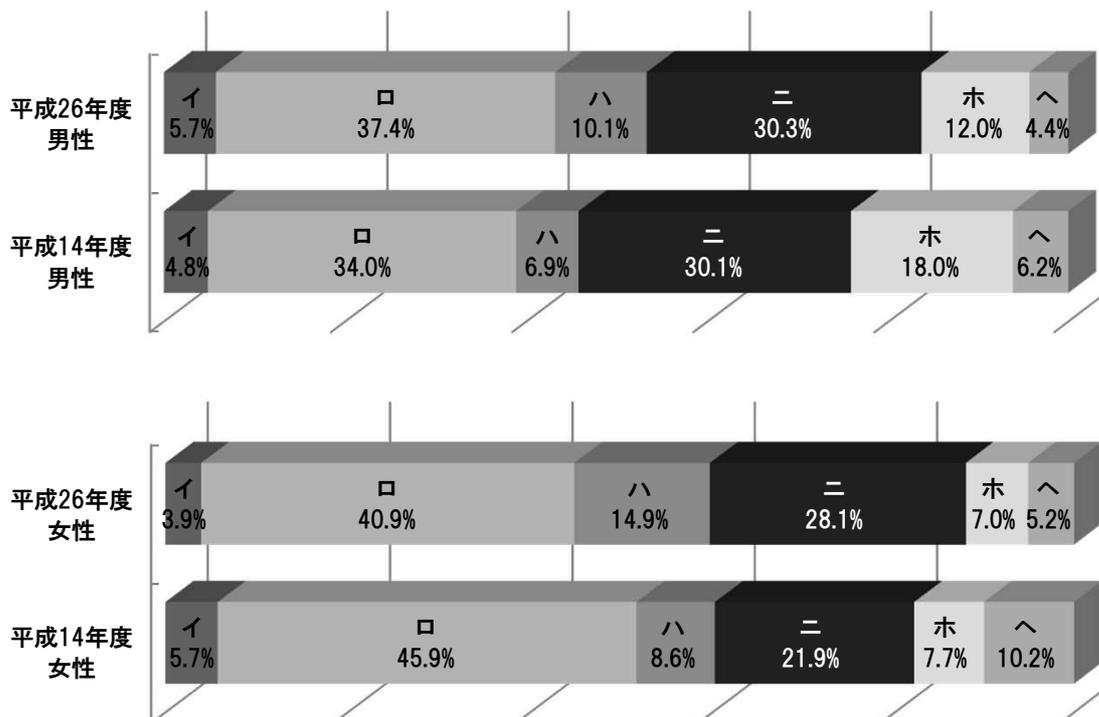
年代別



特に若い世代の多くが『ロ／ 男女半々になるまで増える方がいい』と回答をしていますが、平成14年度実施のアンケート結果と全体的に差がなく、この10余年で意識的な変化が見られないと考えられます。

「比率を定めるまでなくても、その時代のニーズに合っていれば良いと思う。【30代 女性】」という意見と、「能力のある人が参画する事が大事で、男、女で分けない。【50代 男性】」という意見が圧倒的に多く、若い年代では「女性の社会進出はいらない。【10代 女性】」といった意見もありました。

■男女別

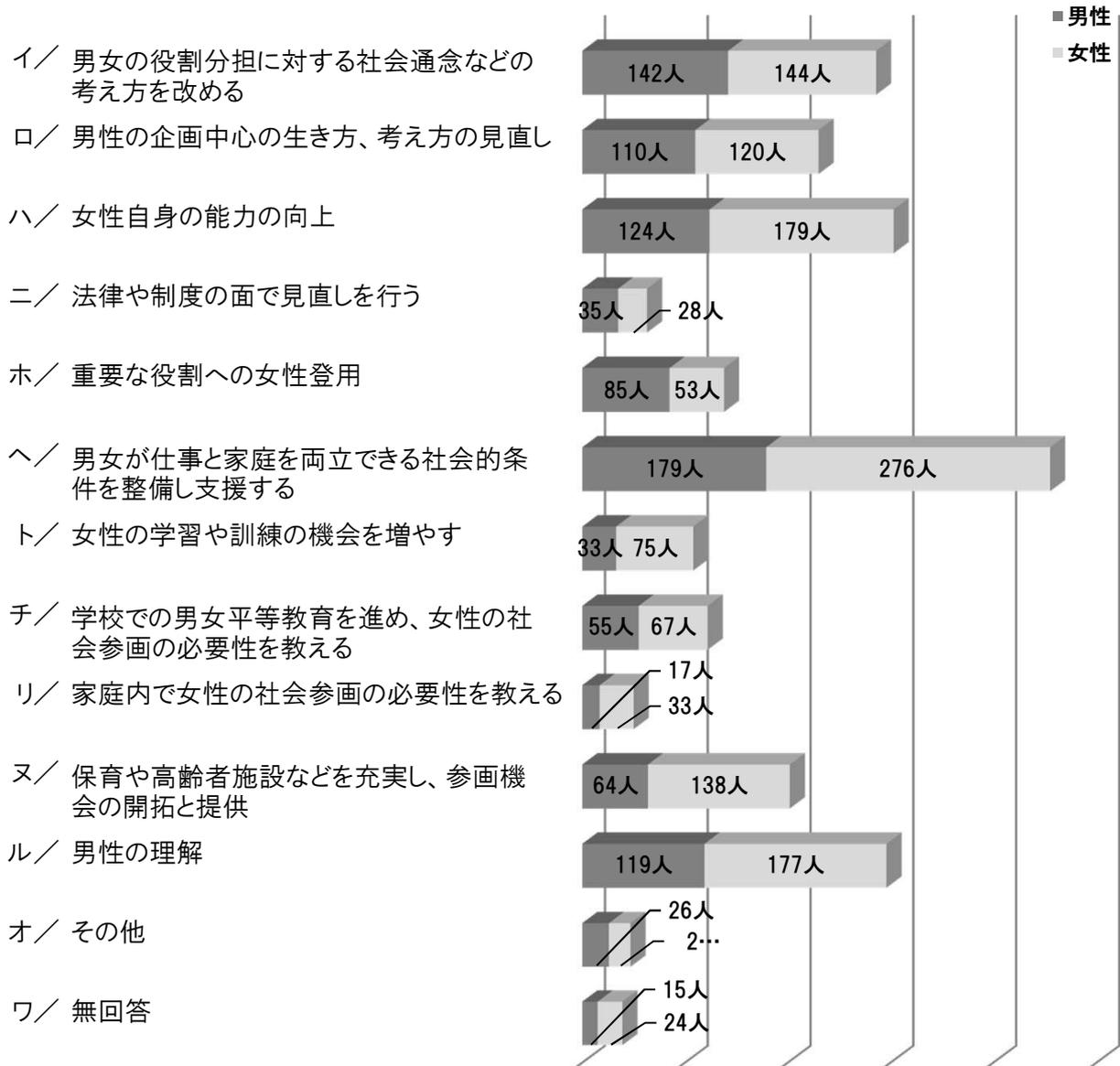


■「ホ／その他」に記入いただいたご意見

- 女性が極力参画できる体制があればよい。【70代 男性】
- 今よりもっと女性が増えても良いと思う。【50代 女性】
- 男か女の問題ではなく、個人の質の問題ではないかと…。【30代 女性】
- 男とか女とか関係ない！リーダーにふさわしい人がリーダーでよい！【50代 女性】
- 数＝定員の力だけではない。協力、考え方を互いに学ぶべき。【60代 女性】
- 口先だけのひとはいらない。本当に市民のことを考えている人ならば誰でも可。【60代 男性】
- 考慮する必要は無い。やる気、実力があれば性別は関係ない。【30代 男性】
- 自然な状態で良いと思う。比率を決めたり無理に女性を増やすのはおかしい。ただの数合わせになりそう。【40代 女性】
- 女性が男性の上になるのは良くないと思います。【60代 女性】
- 女性の参画を推進するのは差別と同じ。自然な帰結に任せればよい。【40代 男性】
- 人物本位。女性が上回っても良い。【60代 男性】
- 生活の安定があればどちらでも。【60代 男性】
- 増員ありきである必要なし。【40代 女性】
- なるべく増える方がいいが、ただのアピールになっているような気がする。【30代 男性】
- 半々でなくても、もう少し女性が多くなると思う。【60代 女性】
- 比率は関係ない。女性にしかわからないこともあるからゼロはダメ。意見を反映できる仕組みもあるとよい。【30代 男性】
- 比率を決めずに流動的に。積極的に参画してくれる女性は受け入れて欲しい。【40代 女性】
- 増えたかどうか分からない。増えたら何なの？【20代 女性】
- 増えることは良いと思う。【50代 男性】
- 無理にふやす必要はない。【30代 女性】
- 良い人材なら女性がいい。比率とか割合ではない。【40代 女性】
- よくわからない。【30代 男性】

問6

町内会やPTAなどの地域活動で、女性のリーダーを増やすためには、なにが必要だと思いますか。次の中から3つ選んでください。

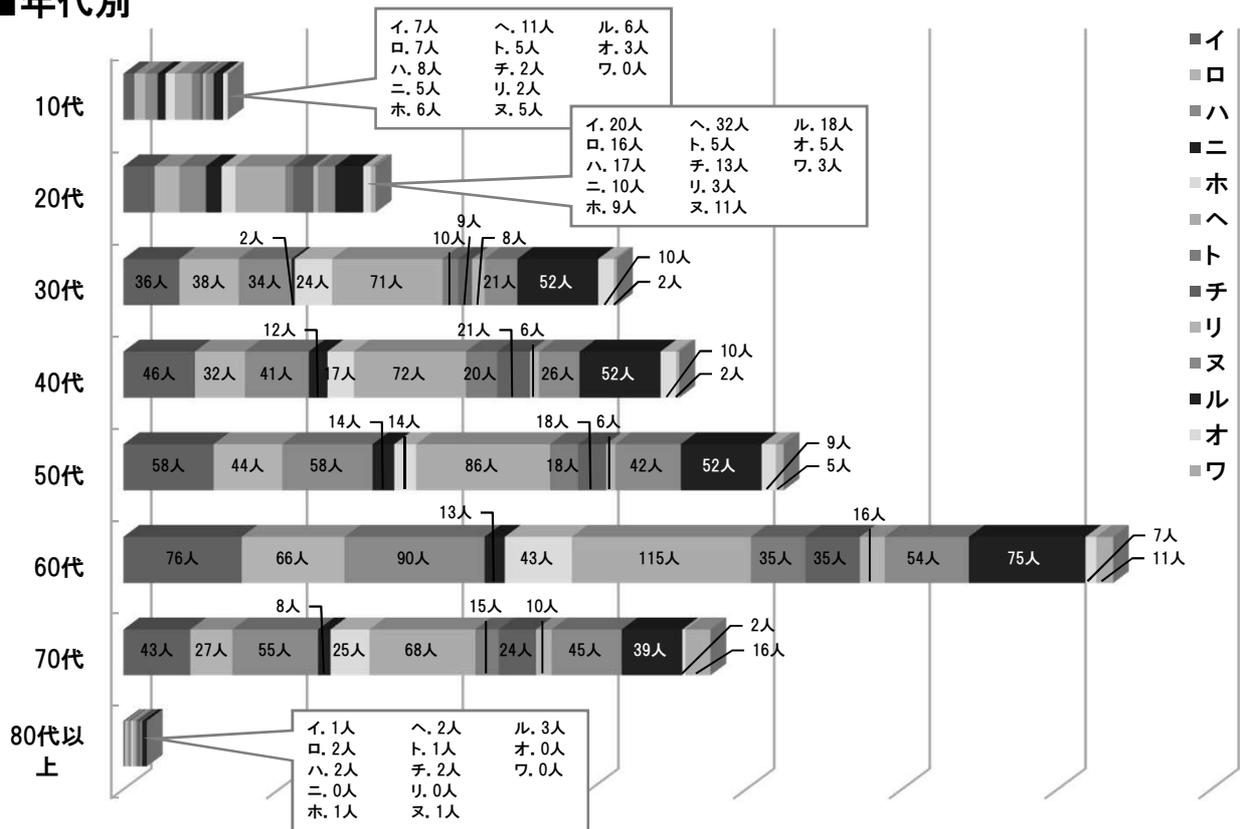


女性がリーダーとなるためには、社会的整備が必要とする回答が多く、また、女性自身の能力向上が必要であるとの回答も次いで多い結果となっています。

「今のままでいいと思う。ただ女性がやりたいと思ったときに周りの男性陣が受け入れてあげればいいだけ。【20代 女性】」、「女性のリーダーを増やそうという前に、リーダーをやりたいという女性が増えれば、おのずと増えると思う。【30代 男性】」といった意見もあり、現在のスタンスに大きな変化を求めていることが窺えます。

また、男性からは、女性が家庭を離れることが少子化を招く一因であるとの意見もありました。

■年代別

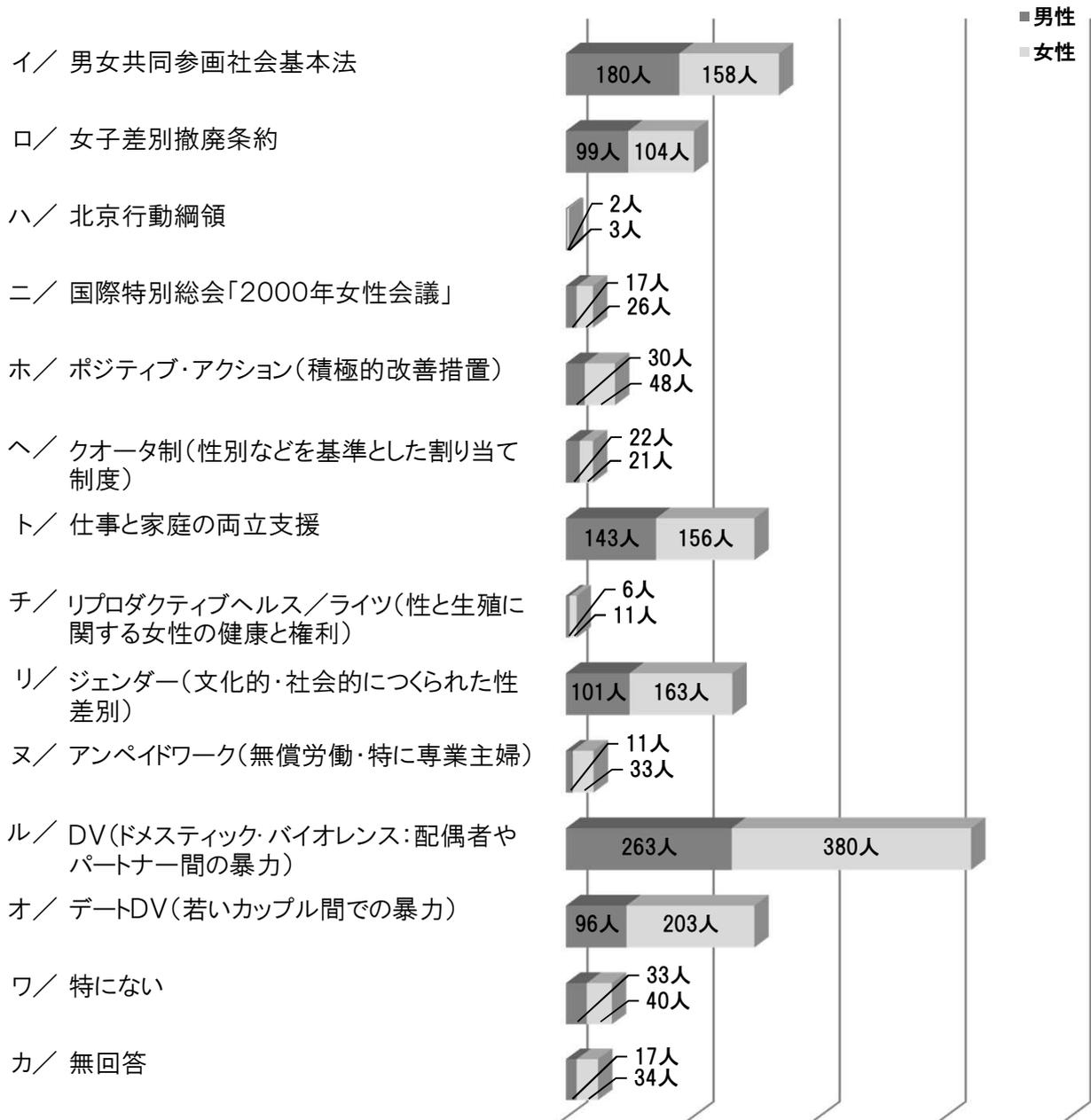


■「オ／その他」に記入いただいたご意見

- そんな事するから少子化するんだ。ヤメロ。【40代 男性】
- 特に女性のリーダーを増やす必要性は認められない。【50代 男性】
- 頭のかたい老人をなんとかする。【30代 男性】
- 女性、男性ではなく、人間性だと思います。どっちでもいいです。【40代 女性】
- 子どもに手がかかるうちや見てくれる人がいないと地域活動でリーダーは、大変だし厳しい。仕事をしていると尚更無理ある。【30代 女性】
- 女性はリーダーにしないほうがいい。【10代 女性】
- 逆に能力があれば自然とリーダーになれる。【20代 男性】
- 子供が減ると思うので、力を入れなくていいと思う。【30代 女性】
- 何故この様な計画が必要かわからない。【60代 男性】
- 男の方がいい。役割がなければあまり動かないから。【40代 女性】
- 女性は影のリーダーになっているのでは。【40代 男性】
- 活動を減らす。経験者がリーダーをサポートする体制をつくる。【40代 女性】
- 私には関係ない。【60代 女性】
- 女性リーダーを増やすという発想自体、差別的である。【40代 男性】
- 女性の考え方を変えたほうがよい。【30代 男性】
- 女性に限らず、社会全体のやる気と時間。【20代 男性】

問7

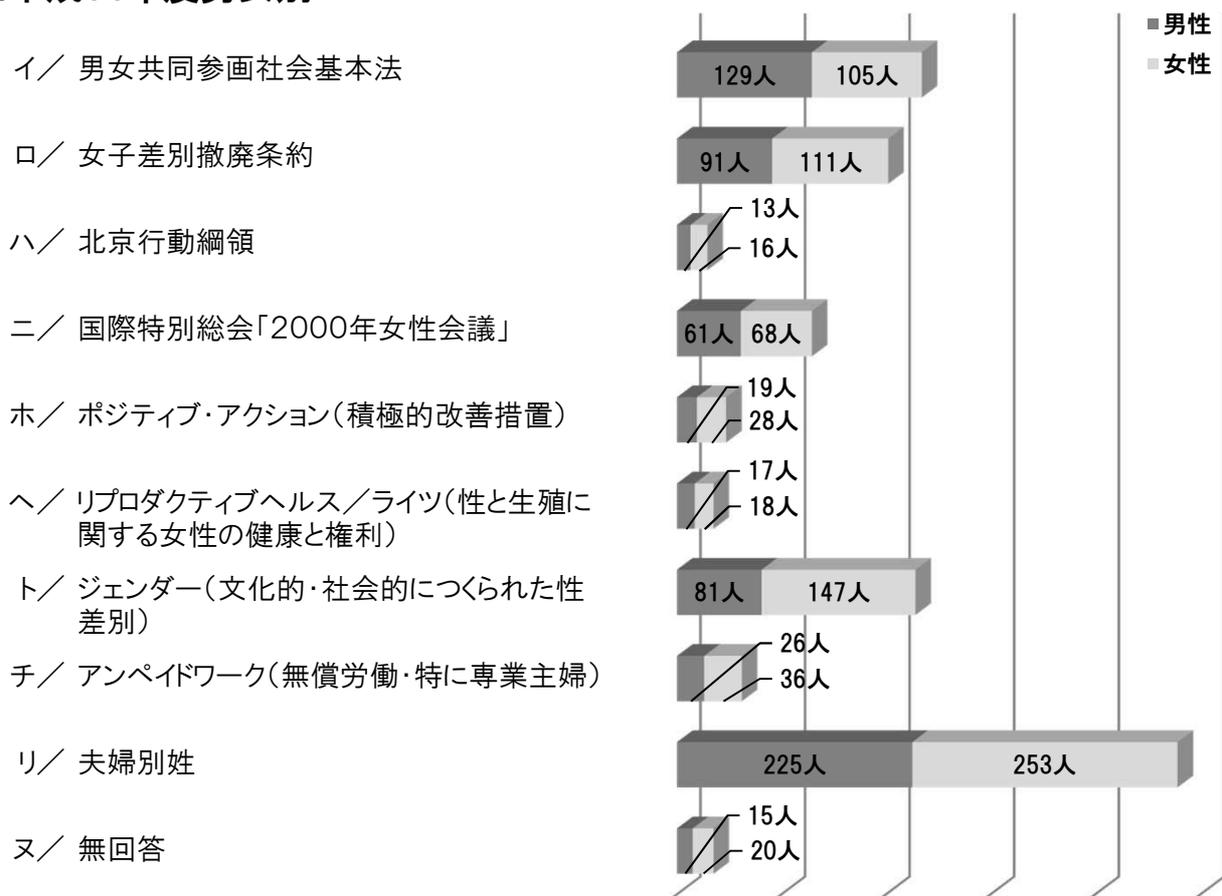
男女共同参画に関する言葉のうち、見たり聞いたりしたことのあるものを、次の中から選んでください。(複数回答可)



平成14年度実施のアンケートには、メディアでも話題となったこともあり『リ/夫婦別姓』が認知度が高くなっていましたが、今回実施のアンケートではドメスティック・バイオレンス(DV)やデートDVなど、パートナー間の暴力に関する言葉が幅広く知れていることがわかります。

これも近年、発生している関連事件の報道が多いなど、メディアによる影響が大きいと考えられます。

■平成14年度男女別



《用語解説》

詳しくはP134の「関連用語の解説」をご覧ください。

男女共同参画社会基本法／男女が互いに人権を尊重しつつ、能力を十分に発揮できる社会の実現のための法律。

北京行動綱領／1995年北京で開催の第4回世界女性会議で採択された行動綱領。貧困や教育、暴力などの12の重大問題領域にそって、女性が置かれた不利な状況を変えていくための計画を記しています。

国際特別総会「2000年女性会議」／北京行動綱領の実施状況の見直しと評価を行うとともに、更なる行動とイニシアティブを検討するため、2000年にニューヨークで開催されました。

ポジティブ・アクション(積極的改善措置)／様々な分野への活動に参画する機会の男女間格差を改善するため、必要な範囲内で、男女のいずれか一方に対し、活動に参画する機会を積極的に提供するとともに、個々の状況に応じて実施するものです。男女共同参画社会基本法では、積極的改善措置は国の責務として規定され、また、国に準じた施策として地方公共団体の責務にも含まれています。

クオータ制／ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の手法の一つ。人種や性別などを基準に一定の人数や比率を割り当てる制度のことです。

仕事と家庭の両立支援／育児または家族の介護を行う労働者の職業生活と家庭生活との両立が図られるよう支援することです。

リプロダクティブヘルス/ライツ(性と生殖に関する女性の健康と権利)／1994年にカイロで開催された国際人口・開発会議において提唱された概念。いつ何人子どもを産むか産まないかを選ぶ自由、安全な妊娠・出産、子どもが健康に生まれ育つことなどが含まれるほか、思春期や更年期における健康上の問題など、生涯を通じての性と生殖に関する課題が幅広く議論されています。

ジェンダー／人間には生まれつきの生物学的性別がありますが、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別をいいます。これは、それ自体に良い、悪いの価値を含むものではなく、国際的にも使われています。

アンパイドワーク／無償労働と訳され、賃金、報酬が支払われない労働や活動を意味します。主に専業主婦(主夫)がこれにあたります。

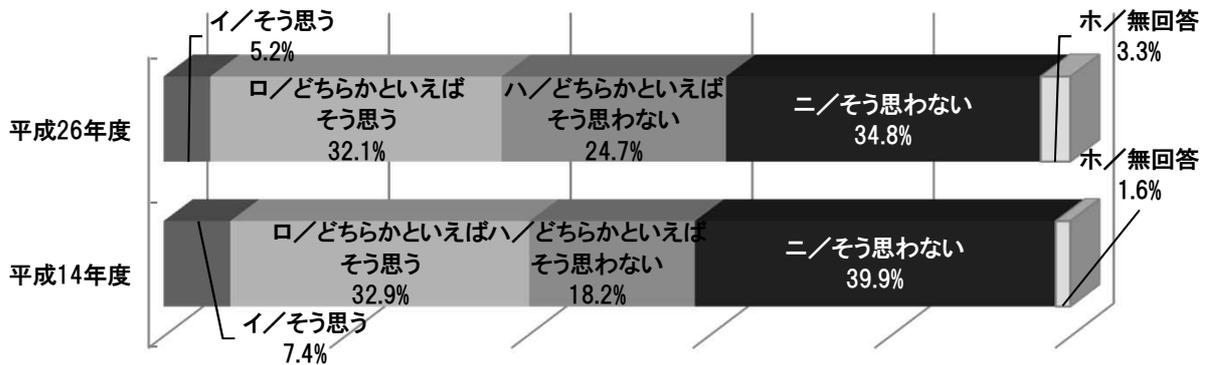
DV(ドメスティック・バイオレンス)／配偶者やパートナーの間で起こる暴力のことです。近年では、元夫婦や恋人など近親者間に起こる暴力全般を指す場合もあります。国では、対象範囲に恋人も含むより広い概念として、「夫・パートナーからの暴力」という用語を使用する場合もありますが、「夫」という言葉を用いているのは、現在では女性が被害者になることが圧倒的に多いからです。

デートDV／交際中の若いカップルの間で起こる暴力のことです。

夫婦別姓(法的名称:夫婦別氏)／夫婦がそれぞれ異なる氏を名乗る制度をいいます。個人の多様な生き方を認め合うために選択的夫婦別氏制度の導入が望ましいとの考えが示されましたが、現行制度では、夫婦同氏制度が採用されており、夫婦別氏制度は採用されていません。

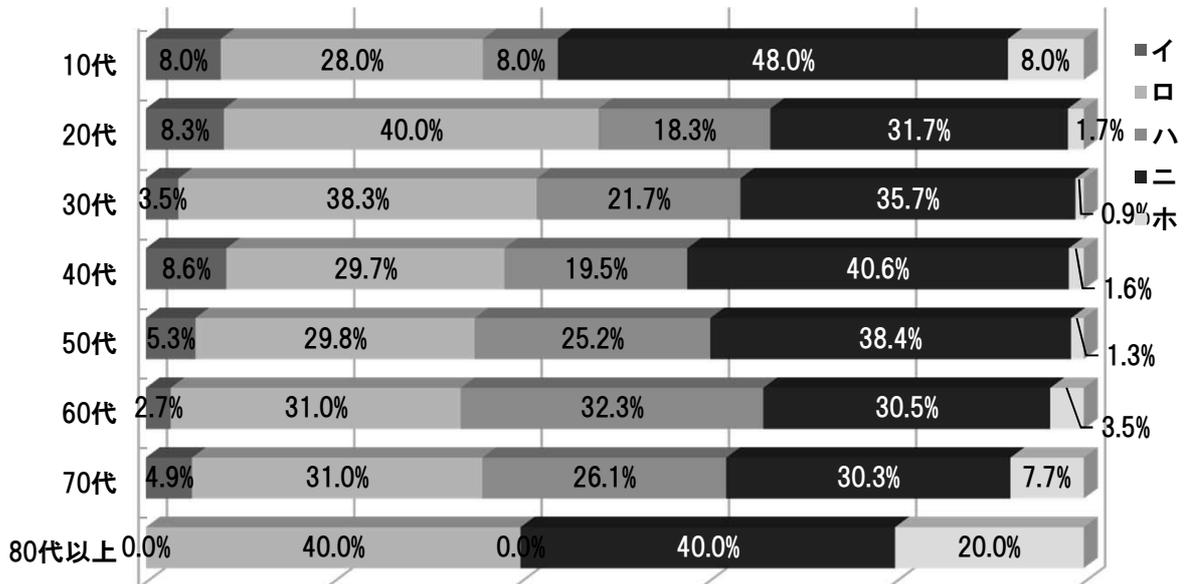
問8

「男は仕事、女は家庭」だと思いませんか。次の中から1つだけ選んでください。

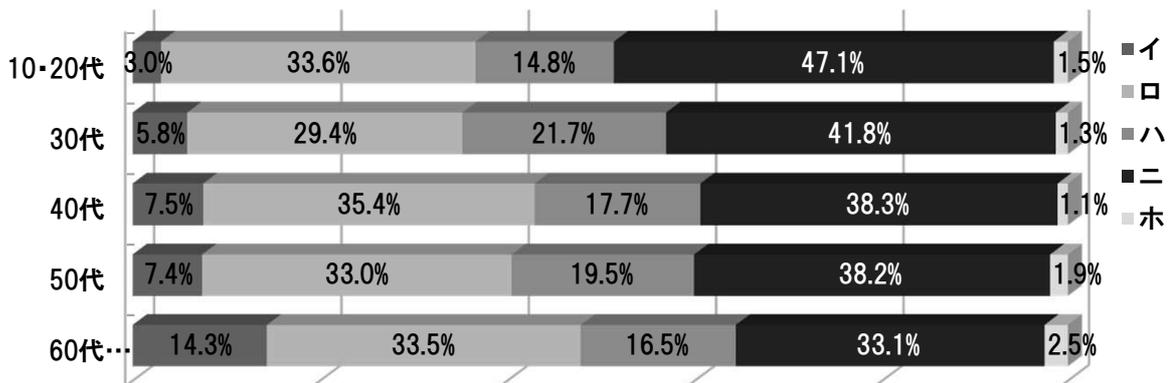


年代別

【平成26年度】



【平成14年度】

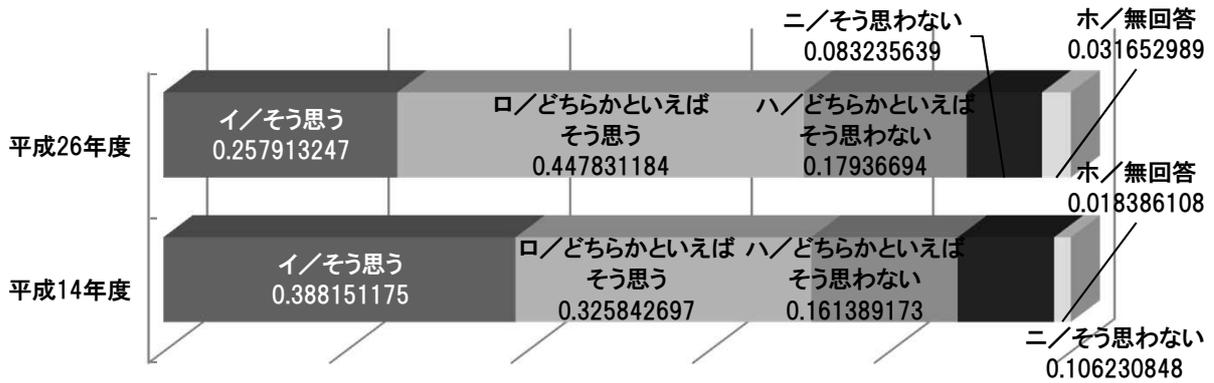


全体を見ると、大きな意見の変化は見られないが、年代別に見てみると、若い世代の感じ方に変化が見られます。

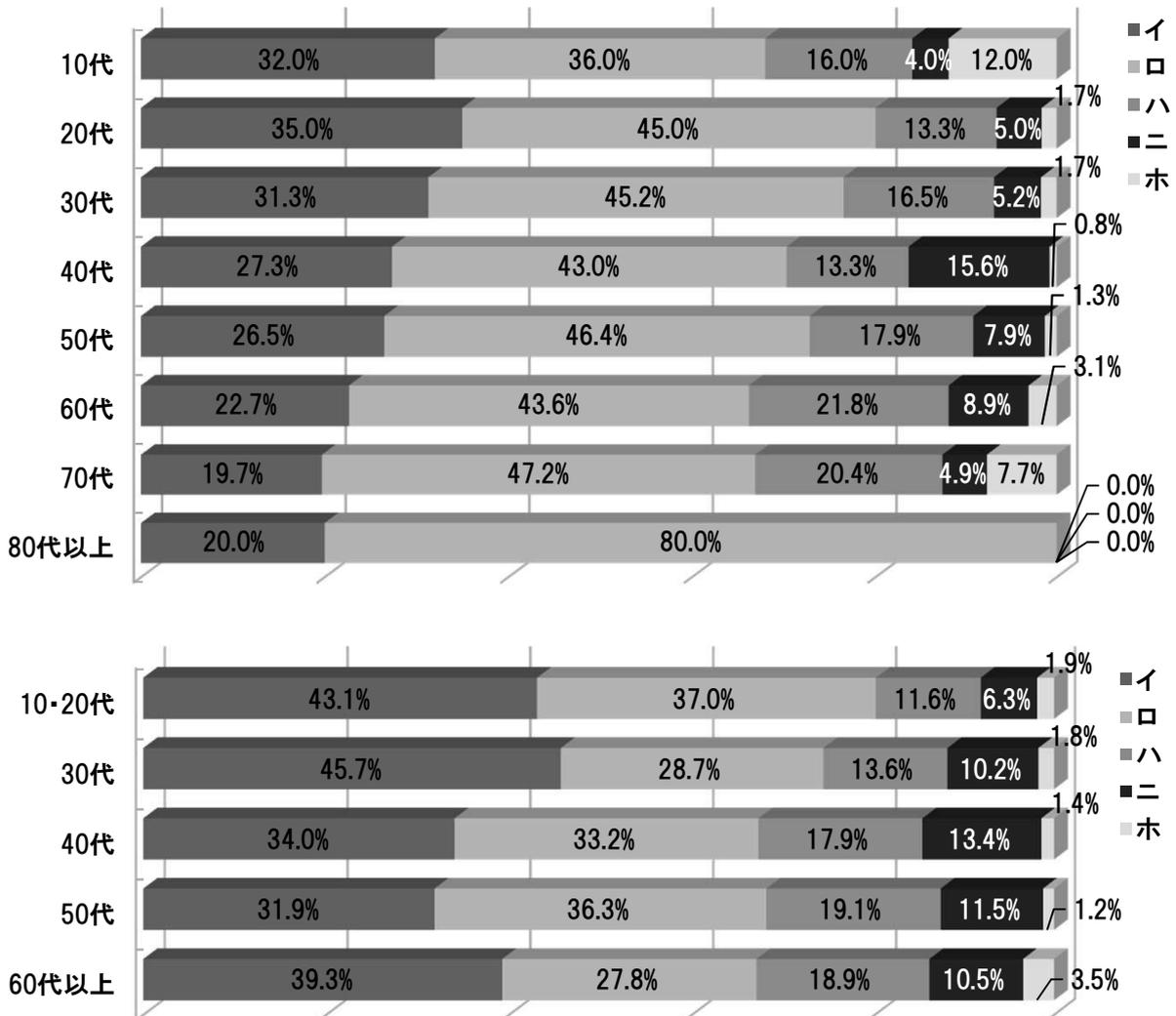
平成14年度のデータでは、60代以上の世代で『そう思う』または『どちらかといえばそう思う』がほぼ半数に達しましたが、今回のアンケートでは若い世代でその傾向が見られ、意識が変化していることが窺えます。

問9

男女とも仕事をし、家事・育児を分担する方がよいと思いますか。
次の中から1つだけ選んでください。



年代別

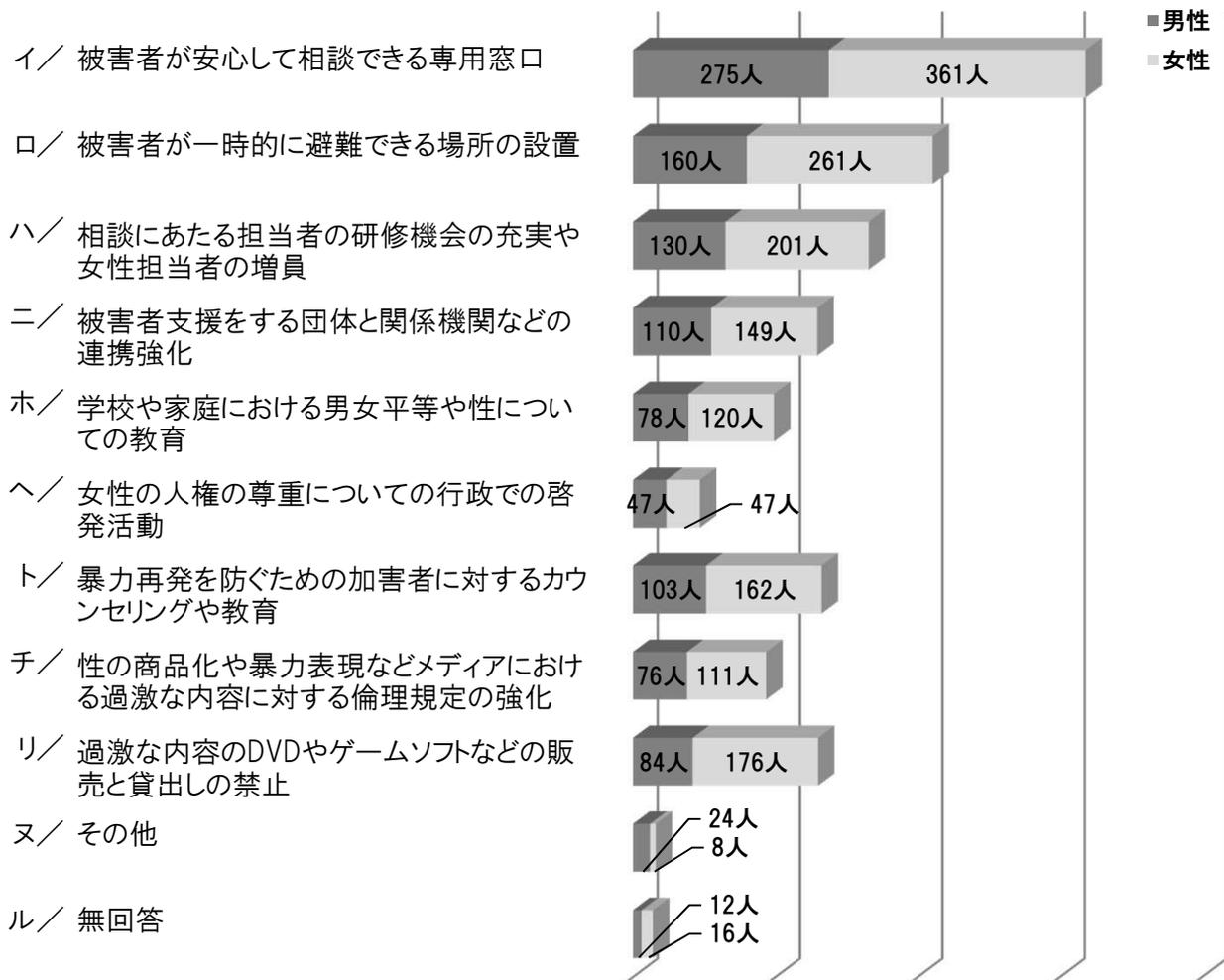


女性も男性もともに働き、家事や育児を分担し合うことが良いと考える回答が半数以上となっています。これまでの設問での回答にもあるように、経済的な背景が強く感じられる結果といえます。

しかし、平成14年度のデータと比較すると、その内訳は変化していることも窺えます。

問10

夫婦間暴力やセクシャルハラスメント、ストーカーなど女性に対する暴力への対策として、どのような対策をしていけば良いと思いますか。次の中から選んでください。(複数回答可)

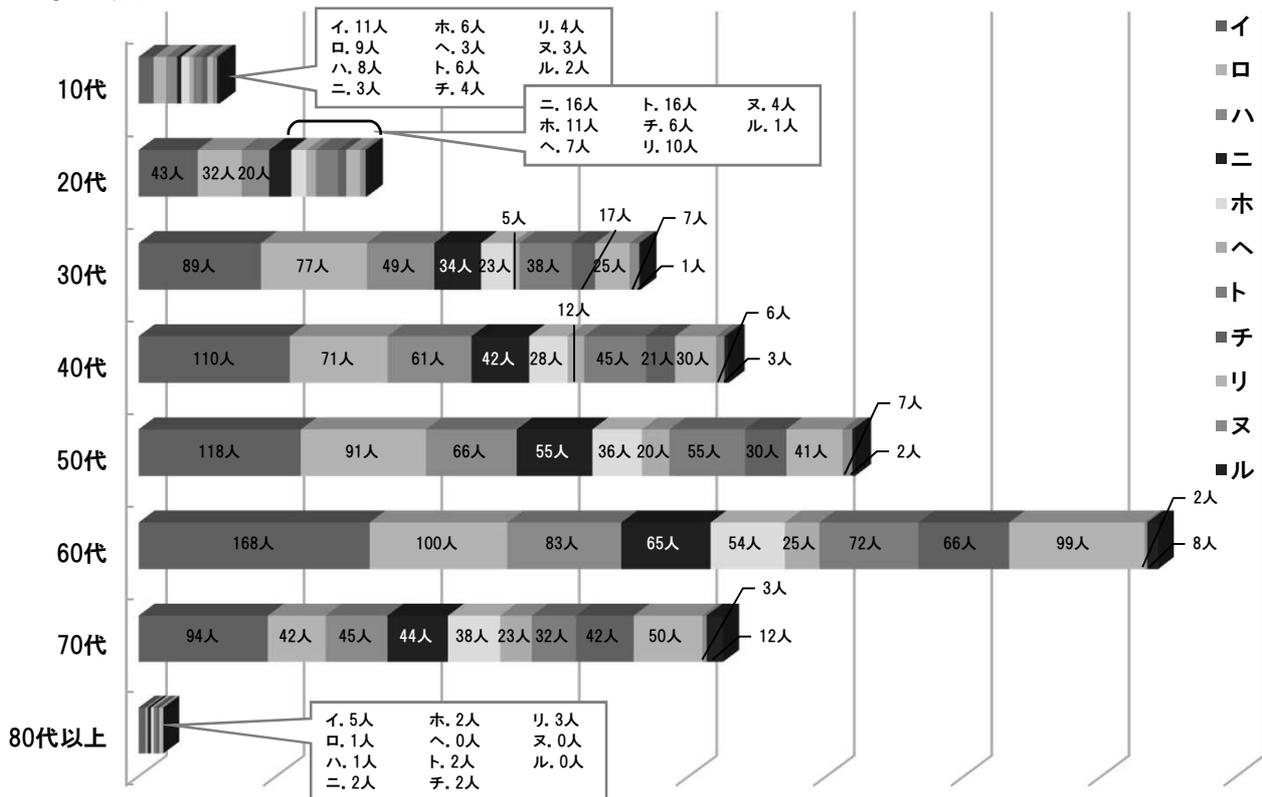


被害者が安心して相談することのできる窓口の設置を希望する回答が、一番多くなっています。

次いで、被害者の避難場所に関する回答が多いことから、このような問題を身近に感じている人が多いことが窺えます。

また、こういった犯罪行為に対して「犯罪として刑罰化。【30代 男性】」や「厳罰化を望む。【50代 女性】」といった意見も多く記入されていました。

■年代別

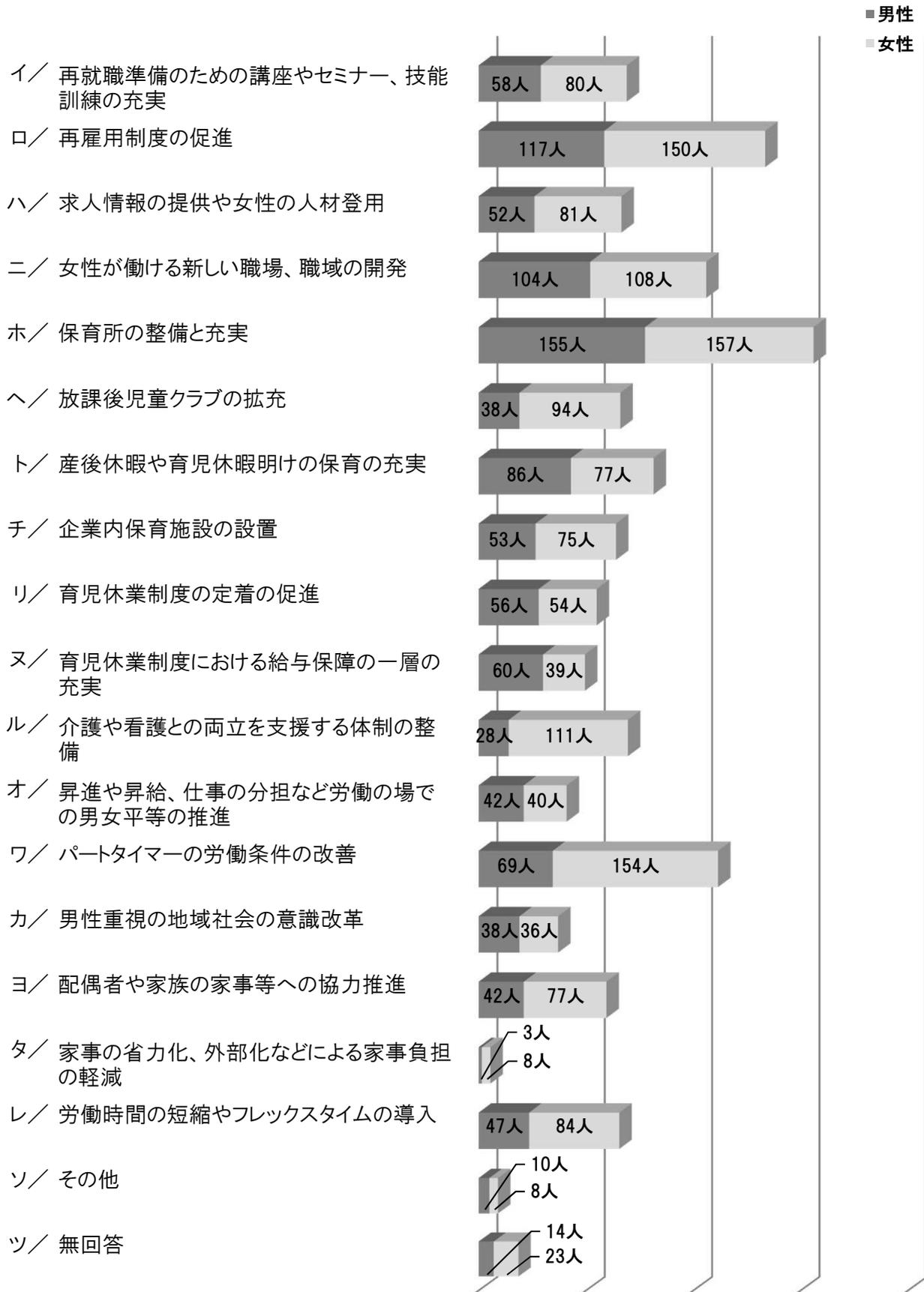


■「ヌ／その他」に記入いただいたご意見

- 司法機関に全てまかせ、行政機関がその機能を果たしていない。【50代 男性】
- 女性への人権が尊重しすぎて、男性の人権が平等以下となっている。【50代 男性】
- 担当者のレベルアップ。人としての！【50代 男性】
- 警察等のしっかりした対応。【10代 男性】
- 子供のときからの家庭での育て方にも。一生懸命働く父と、一生懸命家を守る母を見てると大丈夫。【70代 女性】
- 逆の事も考えるべき。【50代 男性】
- 相談された方への最後までの手助け。【20代 女性】
- 厳罰体制の強化(悪い人は許さない)【70代 男性】
- 職場や企業トップの意識改革。【60代 女性】
- 加害者の早期逮捕、検挙(後半が多い)。【60代 男性】
- スマホ対策。【50代 男性】
- 性の商品化、過激なDVD・ゲームソフトなどの暴力表現などへの倫理規定の一般化や周知が必要だと思う。【50代 女性】
- 女性の人権？ 男性の人権？【40代 男性】
- ゆたかなかんきょうづくり。【20代 男性】
- 加害者の強制移住～加害者が道内在住の場合、同害に強制移住させて、行政が行動を監視する。【40代 男性】
- 3つの大きな問題を1つにして答えろというのは、バカげている。【40代 男性】
- 警察がもっと動いてくれると良い。【30代 男性】
- 被害者が女だけではない。【30代 女性】
- 男性と女性は同じ人間であると個人個人が強く意識をもつようにする。【10代 女性】

問11

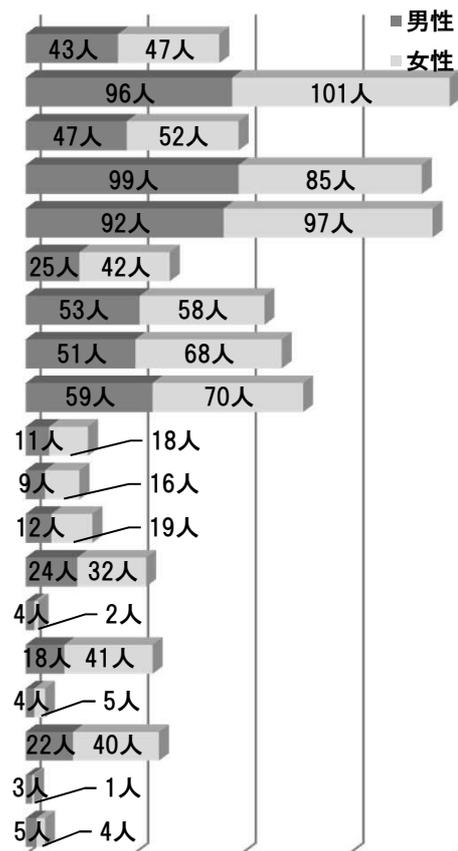
女性が働きやすい環境をつくるには、なにが必要だと思いますか。
次の中から3つ選んでください。



保育所の設置のほか、再雇用やパートタイマーなど、生活費の確保に直結する回答が多くなっています。

■平成14年度男女別

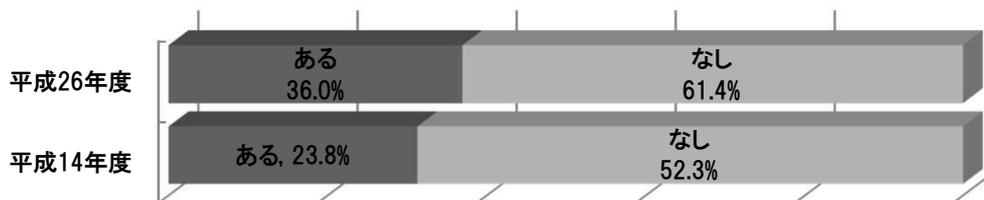
- イ／ 再就職準備のための講座やセミナー、技能訓練の充実
- ロ／ 再雇用制度の促進
- ハ／ 求人情報の提供や女性の人材登用
- ニ／ 女性が働ける新しい職場、職域の開発
- ホ／ 保育所の整備・充実
- ヘ／ 放課後児童クラブ(学童保育)の拡充
- ト／ 産後休暇・育児休暇明けの保育の充実
- チ／ 企業内保育施設の設置
- リ／ 育児休業制度の定着の促進
- ヌ／ 育児休業制度における給与保障の一層の充実
- ル／ 介護・看護との両立を支援する体制の整備
- オ／ 昇進・昇給や仕事の分担など労働の場での男女平等の推進
- ワ／ パートタイマーの労働条件の改善
- カ／ 男性の地域社会
- ヨ／ 配偶者や家族の家事等への協力推進
- タ／ 家事の省力化、外部化などによる家事負担の軽減
- レ／ 労働時間の短縮やフレックスタイム(*)の導入
- ソ／ その他
- ツ／ 無回答



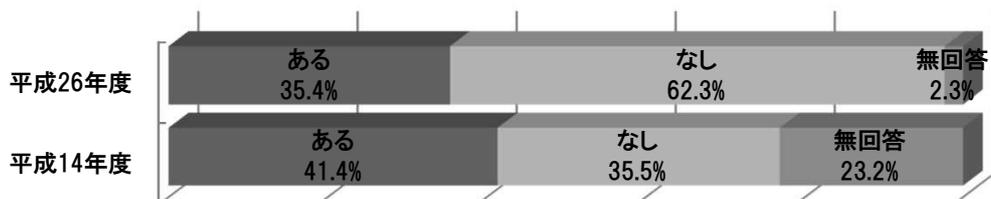
■「ソ／その他」に記入いただいたご意見

- まず、景気が良くなると、すべては改善しないと思います。【40代 女性】
- 技能取得の場。【10代 男性】
- 女性が生活のために働かなくてもすむ。生活の保証、国は何を考えているのですか？【70代 女性】
- そもそも異性の見る目の無さ、危機感の無さがまねいていると感じる。【20代 男性】
- 「女性が働きやすい環境」はある程度整っていると思う。整っていないのは、育児と仕事が両立できる環境だと思う。【50代 男性】
- 子育ての期間は働かなくても良い環境作り。子供のいる方はむりに働かせない方が良い。【60代 男性】
- 専業主婦の地位の評価。【70代 男性】
- 女性自身がもっと前面に出る気持を持たせる。【60代 男性】
- 男性の働きやすい環境は？【40代 男性】
- 男性の理解。【50代 女性】
- 母親は家にいるべき。【60代 女性】
- 雇用者を始めとする意識改革。【60代 男性】
- 女性の覚悟。いちいちセクハラだとかパワハラだとか騒がず、ある程度使われやすい人格になる必要がある。【40代 男性】
- 男女関係なく相手を思いやることの必要性について教育。【30代 女性】
- 正規労働の確保～非職、契約、パート制度の見直し、同一労働賃金の定着化。【70代 男性】
- 子どもに何かあって休まなくてはいけなくなった時、女性の方が休むことが多くなる。子どもが休むことに嫌な顔されないようにしてほしい。【30代 女性】
- 企業や社会等、周りの人々のほんの少しの理解と協力。【40代 女性】
- 「人材」この言葉は使うべきではないと思います。【10代 女性】

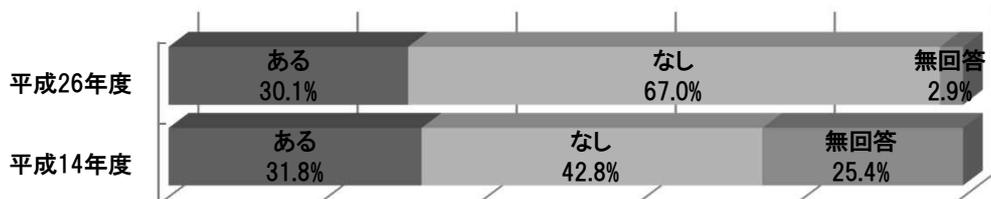
問12 女性の募集や採用の制限



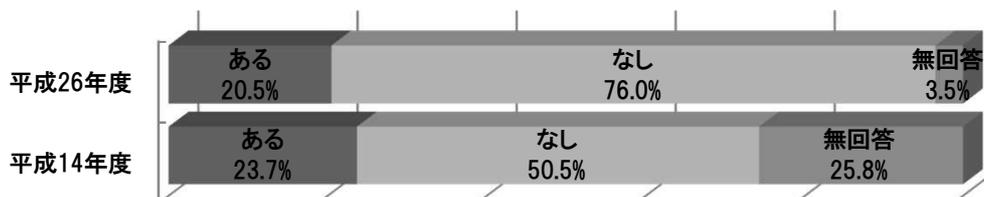
問13 女性の配属される職種の制限



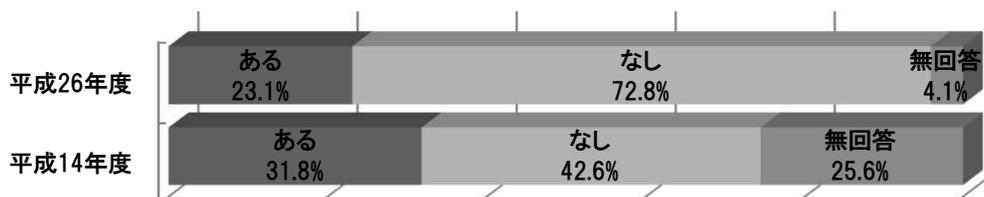
問14 女性の昇進や昇給に遅れ



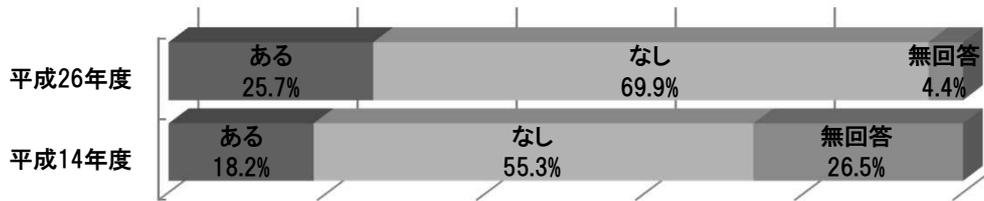
問15 出張や研修などの機会に男女差



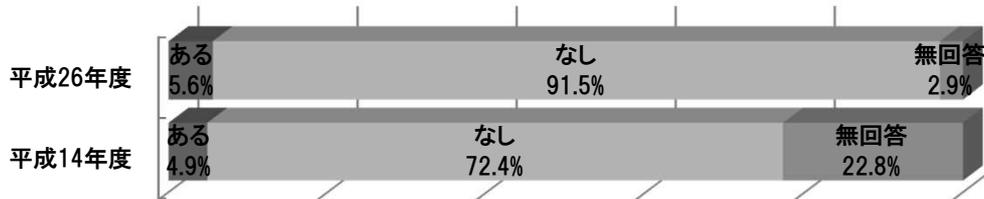
問16 職場方針は男性のみで決定



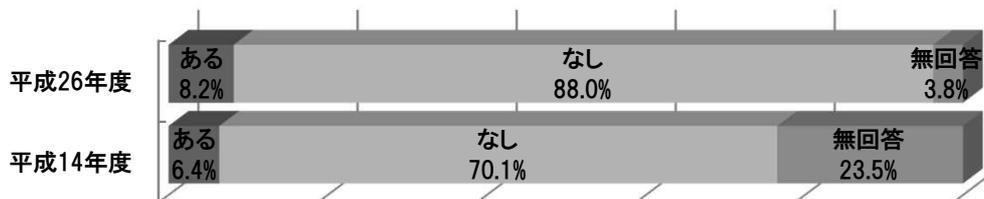
問17 人事異動の扱いに男女差



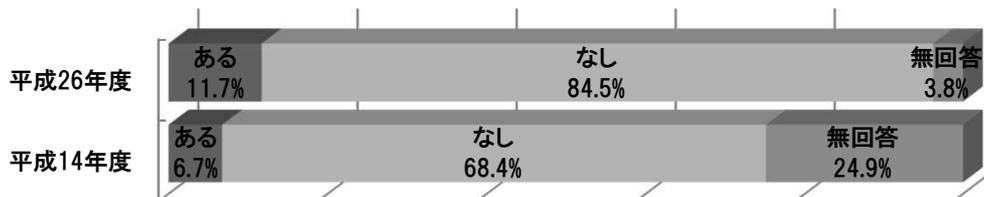
問18 男女で定年年齢が違う



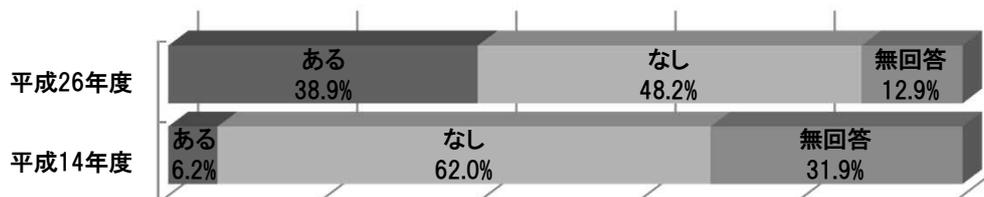
問19 女性の結婚退職制(慣行)



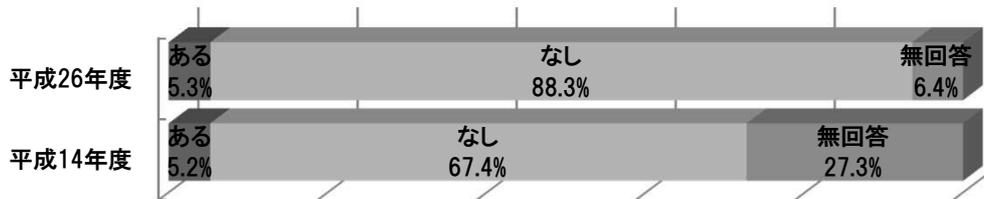
問20 女性の出産退職制(慣行)



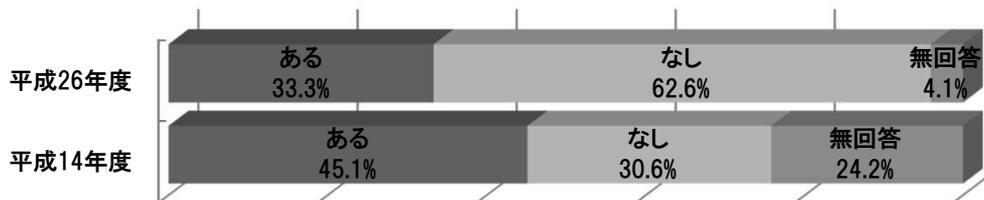
問21 子どもを養育する夫のいない女性への扶養手当



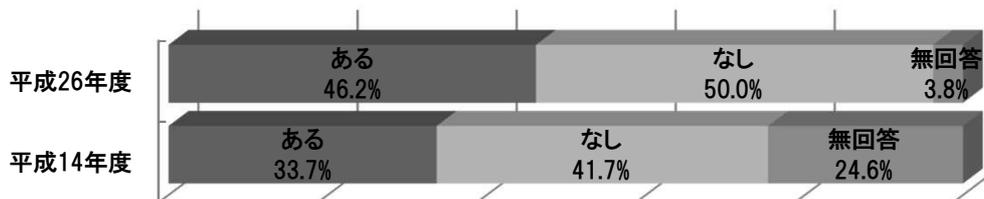
問22 女性中堅社員に、上司や同僚が退職するように仕向ける



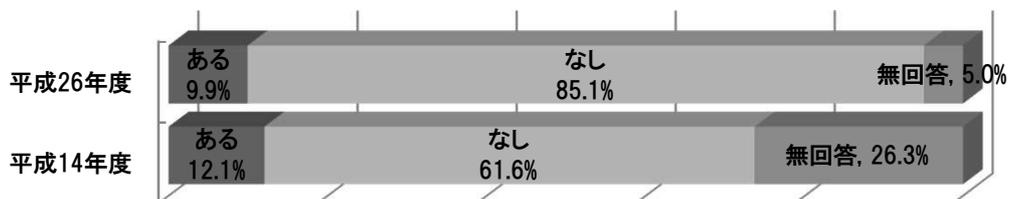
問23 お茶くみや湯飲み洗いなどの雑用は女性がする



問24 女性も除雪などの力仕事



問25 女性には責任の無い仕事しかさせない



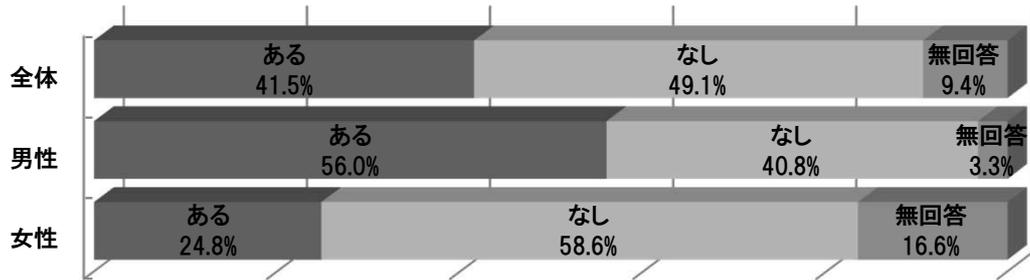
問12～29までは、就労している人の回答です。

多くの設問において、今回と平成14年度の結果に大きな変化はなく、男女による差はほぼないという結果となっています。

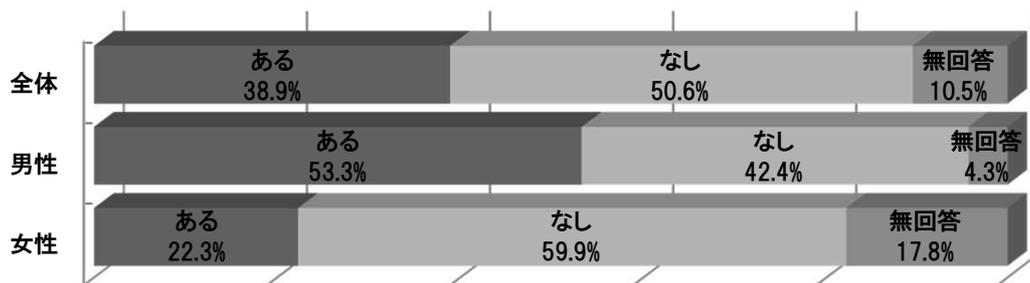
しかし、問21では、大きな変化が見られ、子どもを養育する女性への扶養手当を支給する企業が増え、労働環境が少しずつ変化していることが窺えます。

また、女性ばかりではなく、男性の育児休暇や介護休暇についても、ほぼ半数で整備されていると回答しています。

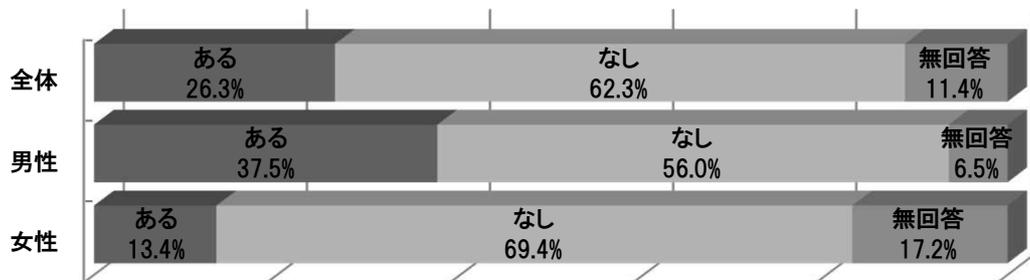
問26 男性の育児休業制度



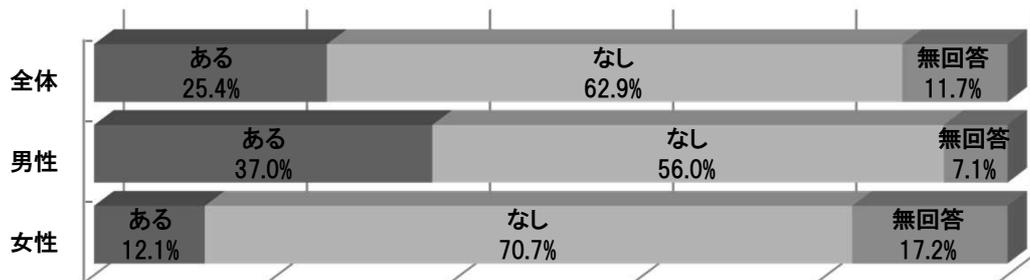
問27 男性の介護休業制度



問28 男性が育児休業を取得

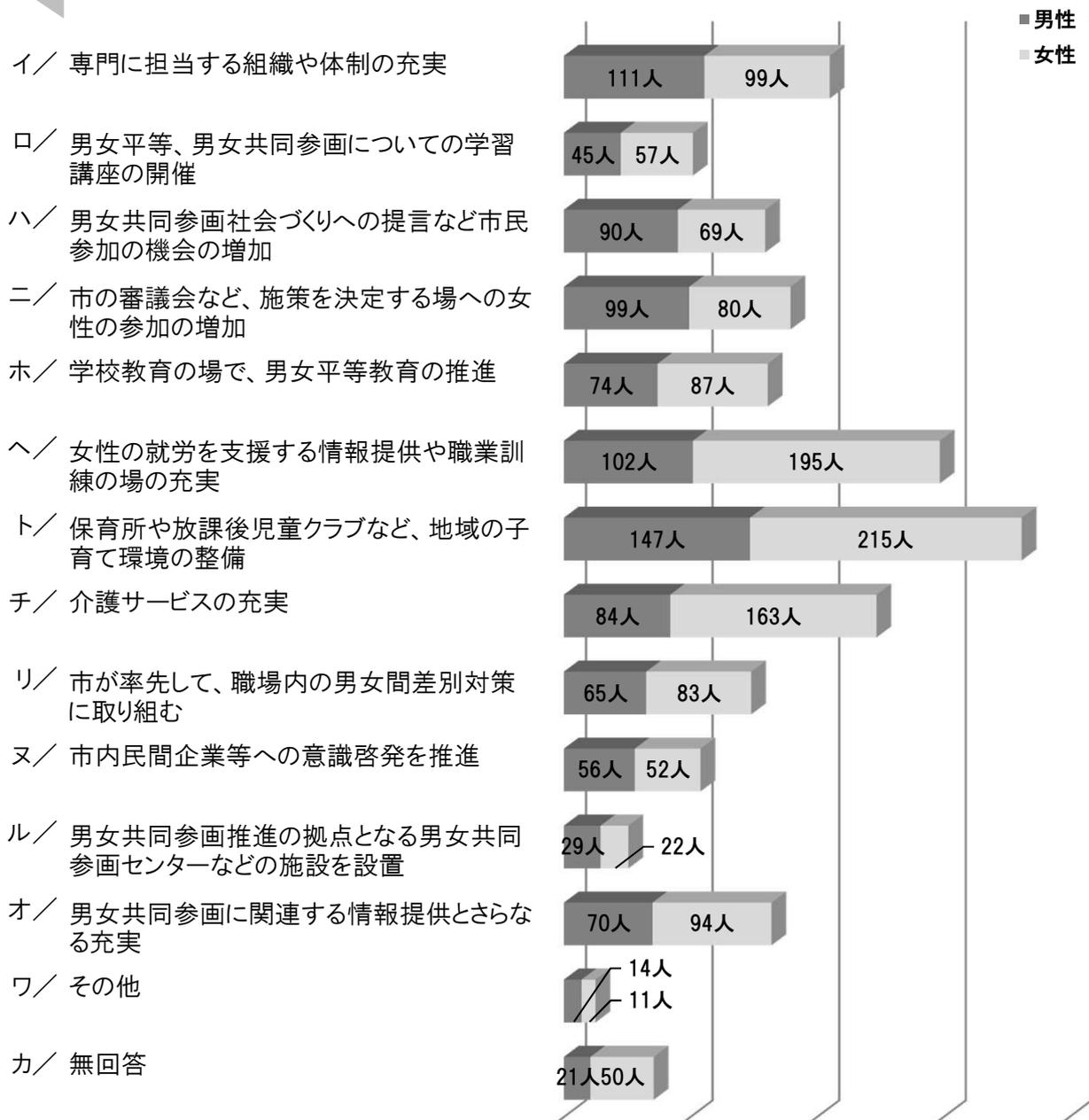


問29 男性が介護休業を取得



問30

男女共同参画社会を進めるために、あなたは恵庭市にどのようなことを期待しますか。
次の中から3つ選んでください。

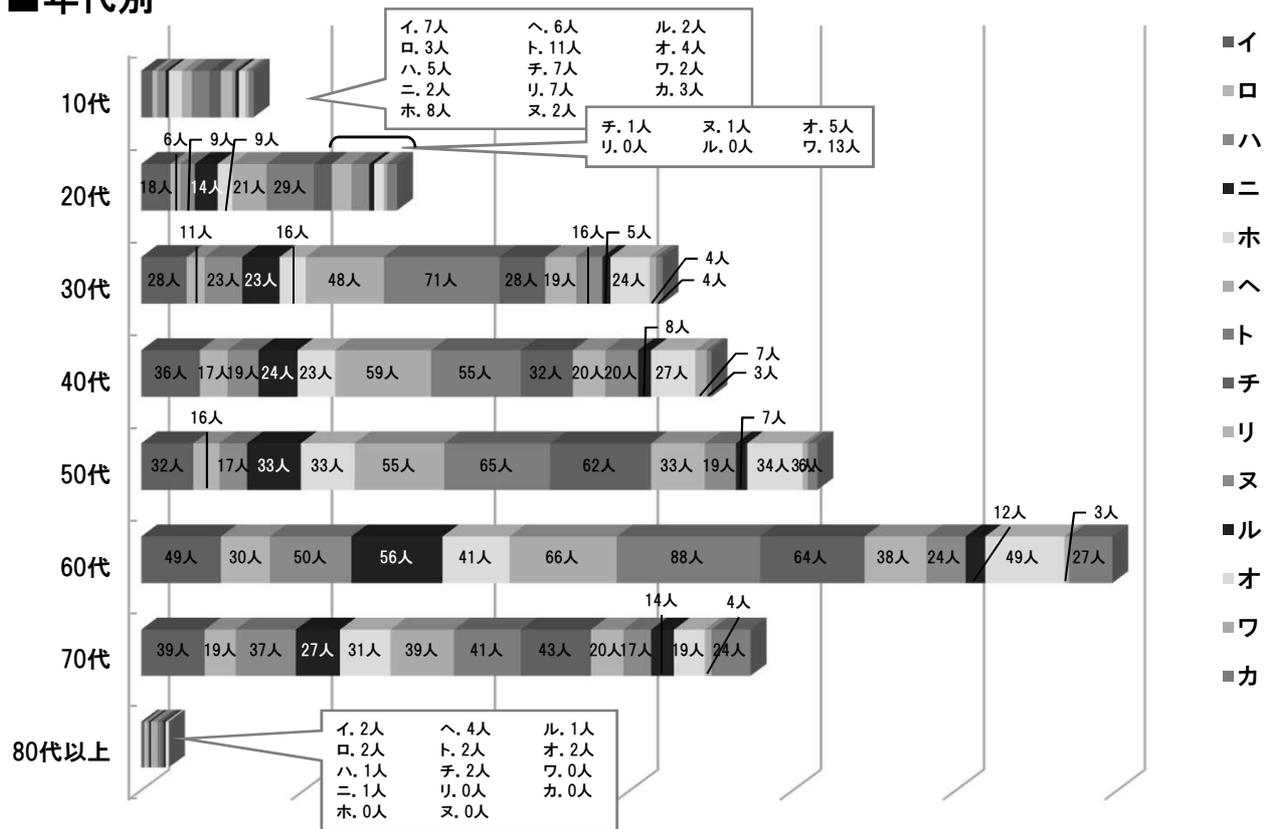


男女別、年代別をとともにみても、『ト／保育所や放課後児童クラブなど、地域の子育て環境の整備』が要望として一番多い結果となりました。

次いで『ヘ／女性の就労を支援する情報提供や職業訓練の場の充実』が多く、子育てにより離職した女性が、再び就労するための訓練など、女性の就労に対する考え方も変化していることも窺えます。

また、「男女共同参画」の認知が薄いことも浮き彫りとなっています。多くが「男女共同参画＝男女平等」という理解がされていて、『ワ／その他』欄にも記入がみられました。

■年代別



■「ワ/その他」に記入いただいたご意見

- 秀でているスキル・特技を發揮できる職場への就業、啓蒙活動支援。【70代 男性】
- 恵庭一般市民よりの積極的行動ある人の参加、企画・趣味の能力ある人もたくさんいると思うので、参加者人選も一案と思います。【70代 男性】
- 男女平等とは思っていないので…。共同や情報提供は必要だと思います。【40代 女性】
- 第一は女性の働く意識の改革。それは手間仕事では出来ません。【70代 女性】
- まだよくわからない。【10代 女性】
- 女性は子供を産み安定した生活を求めます。少なくとも私は家庭に入り子供を育て、男性が社会で活躍すべきだと思います。【20代 女性】
- あまり期待していません。【40代 女性】
- 特になし。【50代 男性】
- 企業の誘致など働く職場の充実。【60代 男性】
- 女性のためにではなく「誰もが」という意識を持つこと。【30代 男性】
- 色々なことに取り組んでいても取組み自体を知らない人が多いので、駅にポスターやチラシを配置するなど人の目に止まるよう努力してほしいです。【20代 女性】
- 非常勤職員を解消し職員化する。市役所内において、同一労働、同一賃金が確保されていない。→職員予算が増えても良い。【70代 男性】
- まずは市役所の人事から。【50代 男性】
- 必要性を感じない。【30代 男性】

みなさんのご意見

少子化対策を真剣に考えてねー。
若い男性の給料では、結婚しても子供と嫁を食わせていけないだろ。
若いやつらの給料を上げないと、このままだな。
あと、こんなアンケート送ってこないでもらえますか。迷惑です。

【40代 男性】

私はまだまだ男女共同参画の社会づくりと言っても、うまく行っているとは思われません。
もっと学校や社会などでの教育と体勢の改善が必要と思われれます。
このアンケートを参考にさせていただきようお願いいたします。

【60代 男性】

この共同参画は、女性を育児から離し、将来的(現に起こりつつある)母性愛不足の子供が多くなる。
母性愛不足の子供は、他人を思いやる心が低下すると考える。少年犯罪が増え、凶悪化する。
特に幼少期や反抗期の子供には、多くの母性愛が必要不可欠である。
男性がイクメンになると、女性と同じように家事・育児はできない。少子化を促進させることになりえる。

【50代 男性】

今まで、色々な市役所へ行きましたが、恵庭市役所ほど、やる気の無い所は見た事がない！
窓口の男性も女性も。

【40代 男性】

男女共同参画というのは、皆が知ってこそ、改善したり、検討したりする企業が増えると思います。
例えば、恵庭市では、その取組をしている企業に訪問し、記事にまとめ、市民に知ってもらうなど。
広報では、わかりにくいので若者や子どもでも読みやすいように、フリーペーパーなどで気軽に見てもらう事からはじめてはいかがでしょうか？
こんな企業があるんだ！ 共同参画ってこんな事なんだー と知識を市民に与えることで、注目があつまり、恵庭市全体の活性化につながると思います。
私は15年程、本社道外、工場が恵庭の会社に勤務しておりましたが、事務員は女性の私ひとりでした。
そのような企業は他にもたくさんあると思います。そう考えると日本全体の問題だと思ってしまう。
働きやすく、休みやすく、なお自分のためにも休め、リフレッシュ出来るような、もう少しゆとりと自由のある世の中になると嬉しいし、もっと笑顔があふれると思います。

【30代 女性】

女子学生の奨学金の負担が40才位まで続いている中で、子供を持ち、子育てをしながら、仕事に追われる。
奨学金は男子にも存在している為、共稼ぎがこれからの家庭環境の主体と成って行く事とわれれますので、女性の社会進出は絶対条件と思います。
まず、市役所の中の女性の扱い方を見直す必要が有ると思います。

【50代 男性】

私は平成生まれですが、男女の平等は求めません。そもそも男と女は違います。
女性しか子供は産めません。
社会で活躍したい女性は自由に出来ませんが・・・ そのせいで男性の収入が減ります。
夫の収入が減れば、家庭に入っていたい女性も仕事に出なければ生きていけない負のサイクルが生まれます。
本来の人間の生活を考えなおしてほしいです。
女性は働けない次期がどうしても出来てしまうのに、いそいで仕事を始めなければならない、子供を産みづらいです。
男女共同参画をすすめる前に男性の収入だけでも暮らしていけるような世の中を作ってください。
出世したい女性よりも未来の子供のことを考えて頂きたいものです。

【20代 女性】

我々の年代では、普通で有る事が、現代の若年層の人々は？
自分さえ良ければという考える人が多くなった。自由をはき違える者が多いと思う。

【70代 男性】

年令的に、パート位しか仕事はないですね。
たとえ面接に行っても、年令で断られますね。それが現状です。

【60代 女性】

男は勝手すぎる。
たいてい男女の問題って男が原因です。
だれのおかげで飯食えてんだ？ だって？ あんたの金で買った食材をだれのおかげで調理されていると
思ってた？（→知り合いの話です。）
こんな男最低。女の恨みは怖いので、女を大事にしたほうがいいよって、世の中の男どもに言いたい。

【20代 女性】

子育てをしていれば働きたくても働けないことが多く、子どもを預ける施設や、企業に積極的に採用してもら
えるような働きがけをしてほしいです。
よろしくお願いします。

【20代 女性】

結婚し、子どもを産みながら働き続けることができる職場はまだまだ少ないのではないかと思います。
産後休暇、育児休暇、保育の充実、男性の育児休暇などを取りやすい環境作りが大切だと思います。
教育費、生活の不安が少しでも解消されない限り、子どもをたくさん産もう。ほしい。
という夫婦はこれから増えないと思います。

【30代 女性】

私は67才になる労働者です。（年金も受給しています）
女性の近年、社会参加が多くなっています。
少しずつ女性向上がみこまれます。あと10～20年で理想的になります。着実に向上すると思います。
女性は、もっともっと強く勉強し、社会性向上が必要です。
現在は、男性の方が社会向き向学心が強いと思います。

【60代 男性】

このアンケートは、女性が差別されている事を前提に質問をしている様だが、現状は女性の方が優遇され
ていると思う。
配属や昇進で、一般職への変更を提案しても、引き受ける人はいない。
人事異動では、女性は転勤がない点で優遇されている。
責任のある仕事は、やってもらおうにも、してくれない。

【50代 男性】

中には子供のいる女性を守りすぎて、独身の女性に負担がかかっている会社もあります。
バランスをとるのは難しいと思いますので、在宅でできる仕事が増えるといいですね。

【30代 女性】

基本計画策定の委員のトップから女性に（若い人など）。
男性も元〇〇、元〇〇長とか名誉職についていた人は、古い感覚の人が多いため若く普通の人を選んで
欲しい。

【60代 女性】

「男性は仕事、女性は家庭」そういう環境が理想です。
男女とも仕事、家事、育児を分担するには男女の能力に違いがある。
男性は男性、女性は女性。

【60代 男性】

少子高齢化が進む中、労働人口が減少している現在、将来、家庭の専業主婦の活用が必要であると考
えます。
働く意欲、体力があったとしても、家庭及び社会環境（保育所等）が整っていないように思います。
まず、その環境を改善し、男性中心の社会を、考え方を含めて改善する必要があると思います。
雇う会社の考え方、協力、国等の指導も大いに大切であり、ある程度の補助？ も考えなければ雇用主も
大変かと考えます。

【70代 男性】

設問が多岐に亘っています。
我々の（市民の）働く実態、生活する実態、男女共同と云う視点（現場の）側から掘ることがかけている様
に考えます。

【70代 男性】

これから結婚して家庭をもつ人たちが安心して生活できる町であってほしいです。

【60代 男性】

社会に参加したくても主人の仕事がおそかったり、忙しかったりすると、なかなか参加することができません。

恵庭市だけでなく、社会全体の企業が、もっと働きやすく(休みが充分にあるなど)環境整備が必要だと思います。

又、恵庭市で共同参画の審議会、学習会に参加したくても、子どものあずかり場所がありません。

働いている人には、学童や保育園のあずかりもありますが、専業主婦となるとなかなかあずかり場所がありません。

それも低価格、もしくは託児があるといいですね。

未就学だけでなく、低学年のあずかりもあると良いと思います。

【40代 女性】

家事等分担性に考えると、業務的となり争いが発生。→離散。

基本的に道德教育。

【50代 男性】

質問への回答の選択肢に、男性のひとり親の記述がないのは、男性には必要ないと考えているのだろうか。

男性でも女性でも働きながら子育てをしていくものであり、もっと公的な援助が公平にされるべきと思う。

【50代 女性】

日本全体の問題！！

非正規の増加、終身雇用の衰退等々、結婚できない社会、将来の生活不安などから変えて行かなければならないと思う。

増税、年金の減額など色々と30~40年前から若年層の不安は積もっている。

【60代 男性】

ダイバーシティの積極的な取り組みがMUST。

そのエンジンは、上司の理解、サポート。

【50代 男性】

男は仕事、女は家庭という言葉じたいが大嫌い！ ふざけてる！

教育でしっかり差別のよくないことを教え、制度でしっかり罰することがいい！

女性の労働環境を法的に企業にかせなければ、女性が働きやすい環境はもらえません。

あと、待機児童がいるかぎり、女性の働きやすい環境ができてるとはいえない！

【40代 女性】

学童が、春・夏・冬休みの期間のみでも利用できると働きやすいです。

学校がある日は、14時までのシフトでも学童の必要がなく、預けなくても大丈夫ですが、長期休みの間は、子供を1人で留守番させなければならないので、仕事を休むようになり働きづらい環境です。

【30代 女性】

女性の社会進出を推進しているけど、結局は政府の財源確保にすぎないから、専業主婦が泣き寝入りしなくちゃいけない。だから仕方なく働く。そういう人も多くなるんじゃないかな。

女性が多く社会に出たからといって、今のような日本の企業体質が改善されるとはとても思えない！

だから、強制的に女性が男性と同等な立場になるよう法律ができれば良い。

子供がいて働く人は、それだけでふつうのあつかいしてもらえないんだからね。

【30代 女性】

男女平等の前に・・・ 市の職員(社会人枠)募集は、なぜ年齢や学歴に制限があるのか？

道庁や札幌市では年齢や学歴制限はなくなりました幅広い人材を採用するようになりました。

恵庭市の未来の為に経験が浅い若者ばかりではなく幅広い経験をしてきた人材にも目を向けて人材確保につなげてほしい。

【30代 女性】

主婦の働きやすい時間、子供が学校へ行っている時間、土日の休みの仕事ももっとたくさんあれば良いなあと思います。働きたくても、子供をあずけて働けないから！

【30代 女性】

男女共同参画の定義を記してから、質問すべきではなかったでしょうか。
それに、女性の人権(セクハラ・DV等)は、男女共同参画以前の話で、アンケートの趣旨からはずれている
のではありませんか。
※日本はすでにかなりの男女共同参画国とおもいますが、まだ足りないんですね。

【60代 男性】

夫が定年になり収入も減り、私はパートで働いていますが・・・ 103万の枠があり、時給が上がっても意味
がありません。
大学生2人いて生活が大変です。

【50代 女性】

女性の人権については相談する窓口にいる女性にも問題がある。
上から目線で意見を聞く前に相手に言われると何も言えなくなる。人選はとてもむずかしい。
男女共同・・・ もともと平等という言葉はなんだか気になる。
女性にしかできない出産。絶対男性には無理。
平等と言うのは、社会において、生活において、能力において、色々あるが、男女平等と言う言い方はなん
だか。

【20代 女性】

問11について「女性」とひとくくりにしてありますが、既婚、未婚、子供の人数、働きたい人、お嫁さんになり
たい人と、色々な人が居ると思います。
一緒に考えると本当に必要あるかが判らない答えが多いです。
問10 女性を特別視しているのでしょうか？女性が常に被害者というわけではありません。
そもそも人権とは男女平等ですね・・・ 女性の人権と言われていますが、男性の人権という言葉を使う人
は少ない。
なぜでしょう？ その時点で女性＝弱者という気持ちではなく、女性は女性の劣等感を捨てることにより、
自然と平等になるのではないのでしょうか？

【30代 男性】

町内会などの集まりなどに参加する機会がありますが、男性中心の考え方であったり、やり方が定着してい
たりと感じる事が多い。
せっかく参加しているのに、参加しない方がよかったと思うことがない社会になることを望む。

【30代 女性】

自分が現在勤務している会社は、世間一般にあまりなじみのない特殊な業種という事もあり、全従業員の
約8割が男性社員という環境なので、このアンケートに答えるまで、男女共同参画について、あまり考えたこ
とがありませんでした。
もっと恵庭市で男女共同参画型の社会を進めていく為には、育児や介護などの面で男性が積極的に行う
ことも大事だと思いますが、市政においても、市議会議員における女性議員の割合(人数)を大幅に増やし
たり、女性の市長を市民が選出して、もっと女性の意見が社会に反映されやすいまちづくり、環境づくりが
必要ではないのでしょうか？
恵庭市だけでなく、全道的、全国的にも、まだまだ本当の意味で男女共同参画が浸透していないように感
じます。

【40代 男性】

基本的には何でも男性と同じように・・・ という考え方ではないので、よくわかりませんが、男性が女性に甘
えすぎる環境は見直した方が良くと思う時があります。(職場でも家庭でも)

【30代 女性】

町内会、自治会等の活動をしたいと思っていますが、回覧板が班ごとになるので、行事等の参加者が私の
班では全くなく、1人だけの記入も戸惑ってしまい、なかなか中に入れないのが現状は私だけでしょうか？

【70代 女性】

3年くらい前に住宅課に行った時、女性のパート職員が男性職員におこられていましたが、とても理不尽な
様でとても不快な気分になりました。
何を変えていくかは考えなければいけない事ですが、まず、市役所の中から変えて行く事が大事だと思
います。

【50代 男性】

設問が解答しにくい感じがしました。

【50代 男性】

子育てをしながら働くのに1番悩むのは、突然熱を出したり病気になった時に休みがとれるのか？
子どもが帰ってくるまでの間に仕事を終わらせたい等が多いと思う。
企業の実情が必要だと思います。

【40代 女性】

男性、女性関係なく、社会参加できればよく、むしろ女性に対する制度の充実等は逆差別にもつながると思います。
能力とか人間性で普通に評価できる社会であればよく、無理に「男性に家庭のことを」「女性も男性のように働くべき」とする必要はないです。
性差はどうにもなるものではなく、それによる役割を否定しても仕方のないことだと考えています。

【30代 女性】

民間委託事業が多いですが、就業者は低賃金で押さえられている。→改善を！
子育ては社会の責任であるということを啓蒙すると同時に、それに見合った施設整備の促進を市政、行政に注文する。

【70代 男性】

今、社会を担っている人達の中に、安定した生計で暮らしている人がどれくらいいるのでしょうか？
安定した収入があれば、結婚、出産もでき、夫婦ゆとりをもって子育て、将来に夢をもっていけるのではないのでしょうか。
昨今、就職率が伸びたといわれていますが、離職率も高く、結婚できない等の問題が出ていると思います。
暗いニュースを見聞きしても、生活苦からの虐待・DVに及ぶ事が多いように思います。
心にゆとりがもてないと、このアンケートにあるように参加できないのではないですか？

【60代 女性】

「男女平等」と言うが、男性と女性は「同等」であっても「同質」ではない。
そこを女性が勘ちがいをして、権利だけを求めるのはまちがいだと思う。
「男女平等」というのなら、女性も男性と同じ事をすべき。
力仕事、危険な仕事も。お茶くみは女性らしい細やかな配慮が生きるすばらしい仕事だと思う。
男女それぞれのよさをおたがいが理解し、上下ではなく同等にお互いの長所を生かした働き方、思想を誇りをもってやっつけたいと思う。
お茶くみや洗い物を「雑用」と女性に押しつけている事がよくわからない。

【30代 女性】

女性差別、女性差別と言いつつ逆に男性差別になっている風潮を感じています。
女性には妊娠・出産があり、結婚して夫の転勤等、社会に出る上でリスクが多いには間違いないので違いが男女で生まれるのは仕方ないことだと思います。
ただ本当に働く意思がある人が男女問わず溢れているので、企業の就労バランスを見直したり歩み寄ること、お互いが潤う社会を実現させてほしいです。

【30代 女性】

労働基準法違反、法定労働時間違反、労働安全法違反、職種別差別、請負業法違反、これらの労働環境が悪い企業が北海道に多いのではないかと。一度、労働者の為に調べる事をお願いします。

【60代 男性】

保育所の充実、児童クラブの拡充等々、女性の働きやすい環境をつくることにより、出産率が果たして向上するのでしょうか？
贅沢な生活をするために夫婦共働きして、子供達と向き合う大切な時間をなくしてはならないでしょうか？
まずは子供達との時間を大切に、余った時間でお仕事をしてはと思います？

【60代 女性】

女性に対する暴力について、担当者の研修機会の充実は、もちろん必要ですが、女性担当者の増員は必要無いと思います。
問題は、担当者の資質や向上心があるか否かです。
①の相談は、複数の人に知られたくはありませんのでね。
たとえ相談内容が合議で回ったとしても、それは内部のことであり相談した方は知りえないことです。
DV等の悩みを相談できる状況(状態)について考慮してください！

【60代 女性】

男性の意識変革が大事です。女性が仕事を続ける事は現実としてきびしい環境です。特に若い人、ある程度子育てが終わってる人は、時間に余裕を持って働いていると思いますが、これからは願いとして女性も活躍出来る環境を作してほしい(保育所・学校の放課後の充実、出産後も気持ちよく現場へ戻れる様に。)介護の問題もあります。介護と看護の学校を恵庭に増やしたらどうでしょう。

【50代 女性】

男女の平等が目的なのか、女性の社会的地位向上が目的なのかハッキリしない。男・女の差というよりは、個人の能力の差の方が大きい。もちろん「男性」「女性」があるのだから、差は必ずある。何をもって「平等」と言うのか。共通認識を持てる様にすべきでは？

【20代 男性】

男女平等、男女共同参画がすべてにおいて良い事とは思わない。男性のほうが向いている仕事、女性の方が向いている仕事があると思う。男女関係なく想像力と思いやり、少しの理解と協力があれば物事は上手くいくように思う。

【40代 女性】

男女共同参画といいつつも家庭内での主婦の比率から考えると女性参加は無理と思われる。子育て、介護、家事等、共働きでも母の方が働いている。父は仕事をしていても母にはこづかいもなく、忘年会も新年会も旅行もない。女はかなしいなと思う。ボクも大人になるとそうなるのかな。

【10代 男性】

平成28年10月からかわるパートタイマーの働き方ですが、週20時間いないというのは、とてもきびしく思います。 “じゃ社保を掛ければ・・・”と言われても、主人の扶養から抜けた時に発生する支払い、そしてカットされる金額を考えたら、社保を掛けた場合、かなり今よりも長い時間働かないと生活していけない人たちも沢山いる事、社保を掛ける事が、全ての人が喜んでいる訳じゃなく、さらに働きづらい、生活がきびしくなる人もいるという事を知ってもらいたいと思います。

【40代 女性】
